

# 2022年度通期決算報告書

プレスリリース  
2023年2月7日、パリ発

**BNPパリバのビジネスモデルの強みを活かし  
極めて底堅い業績を達成**

全事業部門に支えられ  
営業収益が大幅に増加  
プラスのジョーズ効果  
(+0.7ポイント、単一破綻処理基金への拠出を除くと+1.5ポイント)

営業収益: 2021年度比+9.0%

営業費用: 2021年度比+8.3%

(単一破綻処理基金への拠出を除くと+7.6%)

(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除いた場合)

営業収益: 2021年度比+6.6%

営業費用: 2021年度比+5.3%

慎重かつ積極的で長期にわたるリスク管理が、  
低いリスク費用に反映されている:

リスク費用: 31ベースポイント<sup>1</sup>

純利益<sup>2</sup>は大幅に増加

純利益<sup>2</sup>: 10,196百万ユーロ (2021年度比+7.5%)

(一時項目による影響を除いた場合、2021年度比+19.0%)

バランスシートは盤石

普通株式等Tier 1<sup>3</sup>比率: 12.3%

**BANK OF THE WESTの寄与を含む配当可能利益に適用される株主還元率は60%<sup>4</sup>**

EPS<sup>5</sup>: 7.80ユーロ

配当金: 3.90ユーロ

**2023年度に予定されている自己株式取得プログラムは総額5十億ユーロ<sup>6</sup>**

- Bank of the Westの売却に係る4十億ユーロおよび普通配当に係る1十億ユーロ
- 2つの同等のトランシェで実行 (1つ目のトランシェ (2.5十億ユーロ<sup>7</sup>) につきECBに要望書を提出)

1. リスク費用+顧客向け融資期首残高; 2. 親会社株主帰属純利益; 3. 資本要求指令4 (CRD4)。国際財務報告基準 (IFRS) 第9号経過規定を含む; 4. 2023年5月16日に開催される年次株主総会の承認およびECBの認可を要する; 5. 1株当たり利益; 6. ECBの認可等、通常的前提条件を満たした場合; 7. 2022年度利益の普通配当に係る962百万ユーロおよびBank of the Westの売却に係る1.54十億ユーロ



**BNP PARIBAS**

The bank  
for a changing  
world



本プレスリリースに含まれる数値は、未監査の数値です。

本プレスリリースには、将来の事象に関する現在の見解および見通しに基づいた予測的な記述が含まれています。予測的な記述には、財務上の予測や見積りおよびその基礎となる仮定、将来の事象、事業活動、商品およびサービスに関連する計画、目標および見通しに関する記述、ならびに将来の業績およびシナジーに関する記述があります。予測的な記述は将来の業績を保証するものではなく、BNPパリバとその子会社および出資先企業にまつわる固有リスク、不確実性および仮定によって左右されるものです。さらには、BNPパリバとその子会社の事業展開、銀行業界のトレンド、将来の設備投資および買収、グローバルもしくはBNPパリバの主要地域市場における経済状況の変化、市場競争ならびに規制といった要因にも左右されます。これらの事象はいずれも不確実なものであり、現在の見通しとは異なる結果と、ひいては現在の見通しとは大きく異なる業績をもたらす可能性があります。実際の業績は、予測的な記述において見積りまたは示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。本プレスリリースに含まれるいかなる予測的な記述も本プレスリリース発行日現在の予測です。

BNPパリバは、新たな情報や将来の事象によって、予測的な記述を公に修正もしくは更新する責任を負いません。これに関連して、「監督上の検証・評価プロセス (Supervisory Review and Evaluation Process : SREP)」は欧州中央銀行 (ECB) により毎年実施されますが、BNPパリバ・グループが満たすべき所要資本比率は毎年修正される可能性があることに留意が必要です。

本プレスリリースに含まれるBNPパリバ以外の第三者に関わる情報もしくは外部の情報源から入手した情報は、その真実たることを独立に確認したものではありません。ここに記載の情報や意見に関して、表示または保証を表現あるいは示唆してはならず、またその公正性、正確性、完全性または正当性に関しては確実なものではありません。BNPパリバもしくはその代表者ともに、いかなる過失に対しても責任を負わず、また本プレスリリースあるいはその内容の使用により生じる、もしくは本プレスリリースやここに記載の情報や資料に関連して生じる、いかなる損失に対しても責任を負いません。

表中および分析において掲載された数値は四捨五入のため、内訳の合計と総数に若干の差異が生じる場合があります。



BNPパリバの取締役会が2023年2月6日に開催され、ジャン・ルミエール会長が議長を務めるなか、当グループの2022年度第4四半期の業績が検討され、2022年度の財務諸表が承認されました。

今回の決算を踏まえ、ジャン＝ローラン・ボナフェCEO（最高経営責任者）は取締役会の終了後、以下のよう  
に述べました。

「BNPパリバは、その堅実さ、多角的かつ統合的なビジネスモデルの強み、そして各チームが有する専門知識により、2022年度に極めて高い業績を達成しました。この業績は欧州の大手行としてのBNPパリバの独自の地位を反映しており、これはお客様のダイナミズムと経済に適応し経済をサポートする力に寄り添うための先進的なプラットフォームに基づいています。

これらの業績により、BNPパリバの2025年戦略プランの妥当性が確認され、また当グループが節度ある持続的成長を続けることができると確信したことから、当グループは、『Growth, Technology & Sustainability 2025』プランの3つの柱すべてにおいて目標を上方修正しました。我々は、意欲的な財務目標を設定し、技術革新を追求しています。我々は、持続可能な経済へのコミットメントを強化し、エネルギー転換への融資を加速させる新たな局面を迎えています。我々は、2022年にすでにエネルギー生産への融資の軸足を低炭素エネルギーの大半に移すことを可能にした変革努力を、お客様とともに継続していきます。

BNPパリバの世界中のチーム全てに謝意を表します。お客様に常に寄り添ってきたその一貫した姿勢により、我々への信頼は大きく高まっています。」

他に特に言及がない限り、本プレスリリースに含まれる財務情報・事項にはバンクウェスト関連の活動が含まれ、事業上の見解を反映しています。当該財務情報・事項は、国際財務報告基準（IFRS）第5号（売却目的で保有する非流動資産に含まれる資産および負債に関連）の適用により生じる影響は反映しておりません。本プレスリリースでは、下記の通り、IFRS第5号を適用せずに提示する事業上の見解とIFRS第5号を適用した場合の連結財務諸表の調整を含めています。

## BNPパリバのビジネスモデルの強みを活かし極めて底堅い業績を達成

当グループは多角的かつ統合的なビジネスモデルを備えており、チーム、資源および専門知識を結集してお客様および経済をサポートすることができたため、2022年度においても引き続き事業活動と純利益を力強く伸ばすことができました。

BNPパリバの長期的アプローチに裏打ちされた堅実なビジネスモデルにより、当期純利益は、2021年度比7.5%増（2022年度にマイナスとなった一時項目による影響を除くと、同+19.0%）となりました。この力強く節度ある成長は、2022年度における約500百万ユーロの経常的なコスト節減およびオペレーティングモデルの事業適応の効果により、0.7ポイント（単一破綻処理基金への拠出を除くと+1.5ポイント）のプラスのジョーズ効果をもたらしました。当グループは、長期にわたる慎重かつ積極的なリスク管理方針を採用しており、例えば、リスク費用が営業総利益に占める比率は欧州で最も低い水準にあります。

当グループは、社会との関わりを深める方針を強化しています。当グループは、包括的なアプローチを採用し、顧客とともに持続可能な低炭素経済への移行に取り組んでいます。また、ローンポートフォリオをカーボンニュートラルの取組みに沿うように調整するために必要な措置を講じています。Low Carbon Transition Groupを通じて培った能力を背景に、また低炭素エネルギー生産向け融資残高が化石燃料によるエネルギー生産向け融資残高を20%近く上回っていることから<sup>1</sup>、BNPパリバは、2023年1月24日に、低炭素エネルギー生産向け融資を大幅に加速させ、2030年までに化石燃料によるエネルギー生産向け融資を削減することを反映した新たな目標を発表しました。

<sup>1</sup> 2023年1月24日発表のプレスリリースを参照。



グループ全体の当年度の営業収益は、50,419百万ユーロとなり、前年度比9.0%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+6.6%）の大幅な増収となりました。

事業部門の当年度の営業収益は、前年度比10.4%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+7.8%）と大幅に増加しました。ホールセールバンキング（CIB）部門の営業収益は、グローバル・マーケット事業および証券管理事業における非常に好調な業績、ならびに不利な市場環境下でのグローバル・バンキング事業の増収が寄与し、大幅に増加しました。コマーシャル&個人向けバンキングサービス（CPBS）部門の営業収益<sup>1</sup>は、コマーシャル&個人向けバンキング事業における力強い伸び（+8.0%）および専門的金融事業における極めて大幅な増加（+12.0%）により、9.3%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+7.2%）と大幅に増加しました。インベストメント&プロテクションサービス（IPS）部門の営業収益も、極めて不利な市場環境にありながら、プライベートバンキングにおける力強い伸びに支えられ、3.0%（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+2.4%）増加しました。

グループ全体の営業費用は、33,702百万ユーロで、前年度比8.3%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+5.3%）でした。業績は高水準で、単一破綻処理基金への拠出が増加したにもかかわらず、0.7ポイントのプラスのジョーズ効果（この拠出を除くと+1.5ポイント）をもたらしました。営業費用には、一時項目による影響として、事業再編費用と事業適応費用（188百万ユーロ）およびIT強化費用（314百万ユーロ）が合計502百万ユーロ含まれています（2021年度は292百万ユーロ）。

当年度のグループ全体の営業費用は、国際財務報告基準解釈指針委員会（IFRIC）第21号に基づく賦課金（単一破綻処理基金<sup>2</sup>への拠出を含む）が前年度比398百万ユーロ増加したことによる影響を受けました。当年度のこれらの賦課金は1,914百万ユーロで、これには当年度の単一破綻処理基金<sup>2</sup>への拠出額1,256百万ユーロ（前年度は967百万ユーロ）が含まれています。

事業部門の当年度の営業費用は、前年度比8.0%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+5.2%）でした。ジョーズ効果は極めて高水準（+2.4ポイント）でした。CIB部門の営業費用は、特に事業成長支援ならびに連結範囲の変更および為替レート変動による影響により、13.6%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+8.1%）でした。ジョーズ効果は、プラス（+2.1ポイント）でした。CPBS部門の営業費用<sup>1</sup>は、コマーシャル&個人向けバンキング事業および専門的金融事業の双方における事業活動の伸びおよび連結範囲の変更により、6.0%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+4.2%）でした。ジョーズ効果は極めて高水準（+3.3ポイント）でした。営業費用<sup>1</sup>は、コマーシャル&個人向けバンキング事業において6.0%増、専門的金融事業において6.1%増でした。最後に、IPS部門の営業費用は、主に事業開発および的を絞った取組みにより、3.5%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+2.5%）でした。ジョーズ効果は、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くとほぼゼロでした。

したがって、グループ全体の営業総利益は、当年度において16,717百万ユーロとなり、前年度比10.5%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+9.3%）と大幅に増加しました。

リスク費用は、2,965百万ユーロとなり、前年度比1.4%の微増となりました。当年度のリスク費用には、2022年度第3四半期におけるポーランドの「債務者支援法」による一時的影響（204百万ユーロ）が含まれています。リスク費用は、顧客向け融資残高の31ベースポイント相当で、低水準にとどまりました。不良債権（ステージ3）に対する引当は低水準でした。当年度の正常債権（ステージ1および2）に対する引当は、463百万ユーロとなり、ウクライナ侵攻の間接的影響、インフレおよび金利の上昇に関連する引当金は、公衆衛生危機に関連する引当金の戻入および2022年度第4四半期における欧州の特定の基準に合わせるための方法変更に伴う影響額251百万ユーロにより一部相殺されました。

<sup>1</sup> コマーシャル&個人向けバンキング事業のプライベートバンキングの100%を含む（フランスのPEL/CELの影響を含む）

<sup>2</sup> 単一破綻処理基金



これらを受けて、グループ全体の営業利益は、当年度において**13,752**百万ユーロとなり、前年度比**12.7%**増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同**+13.4%**）と大幅な増加となりました。これは、事業部門における大幅な増益（**+18.0%**）によるものでした。

営業外項目は、当年度において**698**百万ユーロの利益（前年度は**1,438**百万ユーロの利益）となりました。一時項目は**15**百万ユーロで、前年度（**952**百万ユーロ）を大きく下回りました。当年度の一時項目は、**bpost bank**の負ののれんから生じたプラス影響（**+244**百万ユーロ）および持分売却による譲渡益（**+204**百万ユーロ）ですが、**Ukrsibbank**株式の減損（**-159**百万ユーロ）および為替換算差額<sup>1</sup>の純損益への分類変更に伴うマイナス影響（**-274**百万ユーロ）により相殺されました。なお、前年度の一時項目には、建物売却による譲渡益（**+486**百万ユーロ）、**Allfunds**株式の売却<sup>2</sup>による譲渡益（**+444**百万ユーロ）、**BNP**パリバ・アセットマネジメント株式の売却による譲渡益（**+96**百万ユーロ）および減価償却費（**-74**百万ユーロ）による一時的影響が含まれていました。

税引前利益は、当年度において**14,450**百万ユーロとなり、前年度（**13,637**百万ユーロ）比で**6.0%**増でした。

法人税は、**3,853**百万ユーロ（前年度は**3,757**百万ユーロ）でした。法人税率は、平均で**28.5%**（前年度は**28.7%**）でした。当グループは多額の納税者でもあり、**2022**年度に納付した税金および賦課金の総額は**7.2**十億ユーロでした。

以上から、当グループの株主帰属純利益は、当年度において**10,196**百万ユーロとなり、前年度比**7.5%**増の大幅増益でした。なお、一時項目による影響を除くと**10,718**百万ユーロとなり、前年度比**19.0%**増の大幅増益でした。

有形自己資本利益率（再評価前）は**10.2%**に達し、当グループの堅実な業績を反映しました。多角的かつ統合的なビジネスモデルの強みが貢献しました。

**2022**年**12**月**31**日現在、普通株式等**Tier1**比率は**12.3%**<sup>3</sup>でした。当グループの即時利用可能な余剰資金は**461**十億ユーロに上り、これは短期資金調達との関係で**1**年超の余裕資金があることを意味します。レバレッジ比率<sup>4</sup>は**4.4%**でした。

**1**株当たり有形純資産額<sup>5</sup>は**79.3**ユーロで、**2008**年**12**月**31**日からの年平均成長率は**6.7%**に相当し、当グループが景気循環を通じて企業価値を継続的に創造する能力を備えていることを証明しています。

これらの業績に加えて、**Bank of the West**の売却により放出された資本の再配分によるさらなる成長の可能性、**2022**年度における金利上昇によるプラスの影響を踏まえ、当グループは、戦略プラン『**Growth, Technology & Sustainability 2025**』の柱の重要性および妥当性を再確認し、目標を上方修正しています。

したがって、当グループは、**2022**年から**2025**年までの親会社株主帰属純利益の年平均成長率を**9%**超とすることを目指しています。当グループは、毎年および特に**2023**年度に実施する自己株式取得によって補完することで、**1**株当たり純利益の年平均成長率が**12%**を超え、すなわち**2022**年から**2025**年の間に**40%**増加し、堅調に推移すると予測しています。

当グループは、毎年平均**2**ポイント<sup>6</sup>のプラスのジョーズ効果を生み出すという目標を再確認し、**2025**年までに累積で最大**2.3**十億ユーロの経常的なコスト削減目標を強化しています。このため、当グループは、**2025**年に有形自己資本利益率（**ROTE**）を**12%**程度に引き上げることを目標としています。

<sup>1</sup> 従前、連結資本に計上

<sup>2</sup> **Allfunds**持分**8.69%**の売却

<sup>3</sup> 資本要求指令**4**（**CRD4**）。国際財務報告基準（**IFRS**）第**9**号経過規定を含む

<sup>4</sup> 規則（**EU**）**2019/876**に従って算定

<sup>5</sup> 再評価後

<sup>6</sup> 営業収益（**CAGR 2022-2025**）から営業費用（**CAGR 2022-2025**）を控除（会計基準の変更によるプラスの影響を除く）（**2023**年**1**月**1**日より**IFRS**第**17**号を適用）



最後に、当グループは、その独自の地位を背景に、2023年度の配当可能利益につき、単一破綻処理基金の増額が前倒しで終了した場合の影響額に相当する金額（1十億ユーロ）で上方修正することを決定しました。さらに、当グループは、2022年度第4四半期にECBが決定した条件の変更に伴うヘッジ調整の影響額およびBank of the Westの売却による譲渡益を2023年度の配当可能利益から除外すると明示しています。したがって、当グループは、2023年度の配当可能利益がプランの目標どおり大幅に増加し、2023年度に予定されている5十億ユーロの自己株式取得プログラム<sup>1</sup>により、1株当たり純利益についても目標を上回る伸びを示すと予測しています。

2023年2月1日、当グループは、子会社であるBank of the West, Inc.を総額16.3十億米ドルでBMO Financial Groupに売却したことを発表しました。この取引により、税引後で約2.9十億ユーロの特別譲渡益が発生し、当グループの普通株式等Tier 1 (CET1) 比率に約170ベースポイントのプラスの影響があり、すなわち約11.6十億ユーロの普通株式等Tier 1資本が放出されました。当グループは、放出された普通株式等Tier 1資本のうち約7.6十億ユーロを、自律的成長の加速、技術および革新的かつ持続可能なビジネスモデルへの的を絞った投資ならびに付加価値の高い企業のボルトオン買収を通じて長期的な価値創造の向上を図るために、時間をかけて、節度ある方法で再配分し、またBank of the Westの売却に関連して2023年度に4.04十億ユーロの臨時自己株式取得<sup>1</sup>を行う予定です。

取締役会は、2023年5月16日に開催する年次株主総会で、1株当たり3.90ユーロの現金配当を株主に提案する予定です。これは、2022年度の配当可能利益に対する配当性向50%に相当します。この配当は、Bank of the Westの2022年度の寄与を含め、962百万ユーロの自己株式取得プログラム<sup>1</sup>の実施により、2022年度の配当可能利益の60%に引き上げられます。当グループは、総額5十億ユーロの自己株式取得プログラムのうち、1つ目の2.54十億ユーロのトランシェ（普通配当に係る962百万ユーロおよびBank of the Westの売却に伴う特別配当に係る1.54十億ユーロ）につき、要望書を欧州中央銀行に提出したことを発表しました。

当グループは、内部統制体制の強化を継続しています。

**2022年度第4四半期**において、営業収益は、12,109百万ユーロとなり、前年同期比7.8%増と大幅に増加しました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+5.8%）。

当四半期における事業部門の営業収益は、前年同期比10.0%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+7.9%）と大幅に増加しました。CIB部門では18.2%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+15.2%）と大幅に増加しましたが、グローバル・マーケット事業（+23.8%）、グローバル・バンキング事業（+15.0%）および証券管理事業（+12.8%）の3つの事業がいずれも非常に好調であったことが寄与しています。CPBS部門<sup>2</sup>の営業収益は、8.0%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+5.9%）と大幅に増加しましたが、コマーシャル&個人向けバンキング事業における大幅な増加（+7.9%）および専門的金融事業（特にアルバル）における大幅な増加（+8.3%）が寄与しています。IPS部門の営業収益は、不利な市場環境にありながら、特にプライベートバンキングにおける力強い伸びにより、1.6%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+1.0%）となりました。

当四半期における当グループの営業費用は、8,473百万ユーロで、前年同期比6.8%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+4.2%）でした。ジョーズ効果はプラス（+1.0ポイント。連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+1.7ポイント）でした。営業費用には、一時項目による影響として、事業再編費用と事業適応費用（103百万ユーロ）およびIT強化費用（85百万ユーロ）が合計188百万ユーロ（2021年度第4四半期は82百万ユーロ）含まれていました。

当四半期における事業部門の営業費用は、前年同期比8.1%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+5.6%）でした。ジョーズ効果はプラス（+1.9ポイント）でした。CIB部門の営業費用は、事業開発支援のため、また為替レート変動および連結範囲の変更による影響で、16.8%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+12.8%）でした。ジョーズ効果は

<sup>1</sup> ECBの認可等、通常の前提条件を満たした場合

<sup>2</sup> コマーシャル&個人向けバンキング事業のプライベートバンキングの100%を含む（フランスの営業収益に対するPEL/CELの影響を含む）



プラス(+1.4ポイント)でした。CPBS部門<sup>1</sup>の営業費用は、コマーシャル&個人向けバンキング事業および専門的金融事業の双方における事業活動の伸びおよび連結範囲の変更による影響により、5.5%増(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+3.4%)でした。ジョーズ効果は極めて高水準(+2.5ポイント)でした。IPS部門の営業費用は、0.6%減(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-1.5%)でした。ジョーズ効果は極めて高水準(+2.1ポイント)でした。

当グループの営業総利益は、当四半期において3,636百万ユーロとなり、10.1%増(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+9.9%)と大幅に増加しました。

リスク費用は、当四半期において773百万ユーロ(2021年度第4四半期は510百万ユーロ)でした。リスク費用は、主に欧州の特定の基準に合わせるための方法変更に伴う影響により、不良債権(ステージ3)に対するリスク費用が減少し、正常債権(ステージ1および2)に対する引当金の戻入が行われたことを反映して、低水準にとどまりました(顧客向け融資残高の31ベースポイント相当)。

当グループの営業利益は、当四半期において2,863百万ユーロとなり、前年同期比2.5%増(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+5.7%)でした。

当グループの営業外項目は、当四半期において74百万ユーロの利益(2021年度第4四半期は378百万ユーロの利益)でした。当四半期は、営業外項目に一時項目は計上しませんでした。なお、2021年度第4四半期において、当グループは、建物売却による譲渡益184百万ユーロおよび減価償却によるプラスの影響合計75百万ユーロを計上しました。

当四半期における税引前利益は、2,937百万ユーロとなり、一時項目の大幅な減少を反映して、7.3%減(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-5.4%)でした。

当グループの株主帰属純利益は、当四半期において2,150百万ユーロとなり、前年同期比6.7%減でした。これは、前年同期と比較して一時項目が減少したことによるものでした。なお、一時項目による影響を除くと2,289百万ユーロとなり、前年同期比7.3%増の大幅増益でした。

\*  
\* \*

<sup>1</sup> コマーシャル&個人向けバンキング事業のプライベートバンキングの100%を含む(フランスの営業収益に対するPEL/CELの影響を含む)



## ホールセールバンキング (CIB) 部門

2022年度通期において、CIB部門は、堅調な顧客取引により、非常に良好な業績を達成しました。その事業活動は堅調で、多角的かつ統合的なビジネスモデルの効率性を活用していました。

CIB部門は、シンジケートローン、債券発行、トランザクションバンキング業務（キャッシュマネジメントおよびトレードファイナンス）およびマルチディーラー電子取引プラットフォームにおいて、EMEA地域<sup>1</sup>のリーダーであることを確認しました。

顧客の取引需要は、特に金利、為替、新興市場およびコモディティデリバティブの市場において旺盛でした。顧客の取引需要は、株式取引においても高水準でした。市場が2021年度と比較して17%縮小するなか、世界中の発行市場（シンジケートローン市場、債券・株式発行）において顧客向けのファイナンス事業が持ちこたえました<sup>2</sup>。証券管理事業では、取引高が高水準で推移し、事業活動が堅調でした。

CIB部門の営業収益は、当年度において16,465百万ユーロとなり、前年度比15.7%増の大幅増収（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+11.3%）で、不利な環境下でもグローバル・バンキング事業は非常に好調で（+2.6%）、グローバル・マーケット事業は非常に堅調な伸びを示し（+27.0%）、証券管理事業は堅調に推移しました（+11.0%）。

グローバル・バンキング事業の営業収益は、不利な環境下で、当年度において5,218百万ユーロとなり、前年度比2.6%増でした。多角的なビジネスモデルにより、2022年度第4四半期には非常に力強い回復がみられ、取引高は高水準でした。キャピタルマーケット事業のEMEA地域<sup>1</sup>の営業収益は、不利な市場環境下にありながら、持ちこたえました（-12.5%）。トランザクションバンキング業務の収益は、特にキャッシュマネジメントにおいて、大幅に増加し（+30.0%）、EMEA地域<sup>1</sup>において特にM&Aが好調でした。アジア太平洋地域においても力強い伸びを示しました。融資残高は188十億ユーロ<sup>3</sup>で、2021年度第4四半期比10.5%増<sup>3</sup>の大幅増となりました。預金残高は219十億ユーロ<sup>3</sup>で、2021年度第4四半期比11.9%増<sup>3</sup>の大幅増となりました。

グローバル・マーケット事業の営業収益は、顧客の取引需要が堅調であったことから、当年度において8,660百万ユーロとなり、前年度比27.0%増の大幅増収でした。FICC事業<sup>4</sup>の営業収益は、5,234百万ユーロで、32.6%増の大幅増収でした。これは、特に金利・為替商品、新興市場およびコモディティデリバティブの再配分ニーズおよびヘッジニーズに関して、顧客の取引需要が非常に旺盛であったことによるものでした。発行市場およびクレジット市場にとってはあまり有利な環境ではありませんでした。株式・プライムサービス事業の営業収益は、3,426百万ユーロとなり、19.3%増でしたが、これは、特にエクイティデリバティブにおける堅調な顧客取引およびプライムサービスからの多大な寄与によるものでした。市場リスクの尺度であるバリュー・アット・リスク（VaR。保有期間1日、信頼区間99%）は、低水準で推移し、慎重な管理とコモディティの減少により、前四半期比でわずかに減少し、33百万ユーロとなりました。

欧州での新規マナドートとプライベートキャピタルにおける非常に好調な勢いに支えられ、証券管理事業の事業活動は、非常に好調で、多角的なビジネスモデルの恩恵も受けました。証券管理事業の営業収益は、当年度において2,587百万ユーロとなり、前年度比11.0%増の大幅増収でした。これには、取引手数料の大幅な増加に加え、金利環境による好影響も寄与しました。証券管理事業の取引高は、大幅に増加しました（前年度比+8.6%）。不利な市場環境下においても、平均残高は持ちこたえました（2021年12月末比-3.0%）。証券管理事業では、引き続きオペレーティングモデルの改革を進めます。BNPパリバ・エスエーとの合併は、2022年10月1日付で実施されました。また、2023年1月1日に、フランスにおける発行体向けサービス業務をUpteviaに移管しました。

CIB部門の営業費用は、当年度において10,753百万ユーロとなり、前年度比13.6%増で、好調な事業展開および為替の影響が関係していました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+8.1%）。ジョーズ効果はプラス（+2.1ポイント）でした。

CIB部門の営業総利益は、当年度において5,712百万ユーロとなり、前年度比19.8%増でした。

<sup>1</sup> 欧州、中東、アフリカ

<sup>2</sup> 出所: Dealogic社、2022年12月31日時点、ブックランナー（取引高）

<sup>3</sup> 平均残高（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く）

<sup>4</sup> Fixed Income, Currency and Commodities（債券、為替、コモディティ）



当年度におけるCIB部門のリスク費用は325百万ユーロで、グローバル・バンキング事業のリスク費用は336百万ユーロでした（前年度は201百万ユーロ）。リスク費用は、顧客向け融資残高の19ベースポイント相当で、正常債権に対する引当金は2021年度の戻入と同等でしたが、不良債権（ステージ3）に対する引当金の減少を反映して、低水準にとどまりました。

以上から、CIB部門の税引前利益は、当年度において5,398百万ユーロに達し、前年度比16.0%増の大幅増益でした。

2022年度第4四半期において、CIB部門の営業収益は、3,858百万ユーロとなり、前年同期比18.2%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+15.2%）と大幅に増加しましたが、グローバル・バンキング事業（+15.0%）、グローバル・マーケット事業（+23.8%）および証券管理事業（+12.8%）の3つの事業がいずれも非常に好調であったことが寄与しています。

グローバル・バンキング事業の営業収益は、当四半期において1,522百万ユーロとなり、前年同期比15.0%増の大幅増収で（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+11.5%）、不利な環境下にもかかわらず、非常に良好な業績を達成しました。同事業は、とりわけ、非常に有利な金利環境に支えられ、トランザクションバンキング業務（特にキャッシュマネジメント）において大きなシェアを占め、恩恵を受けました。アジア太平洋地域では、大幅な増収となりました。

グローバル・マーケット事業の営業収益は、当四半期において1,657百万ユーロとなり、前年同期比23.8%増の大幅増収でした。FICC事業<sup>1</sup>の営業収益は、44.8%増加し、1,094百万ユーロとなりました。これは、金利・為替商品、新興市場およびコモディティに対する需要が非常に高まったことによるものでした。当四半期において、株式市場（特にデリバティブ市場）における顧客の取引需要は落ち込みました。株式・プライムサービス事業の営業収益は、前年同期比3.4%減の563百万ユーロとなりました。

証券管理事業の営業収益は、当四半期において679百万ユーロとなり、前年同期比12.8%増の大幅増収でした。これには、取引高の急激な増加に加え、金利環境による好影響も寄与しました。

CIB部門の営業費用は、当四半期において2,743百万ユーロとなり、前年同期比16.8%増で、特に当四半期における取引高の急速な増加および為替の影響が関係していました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+12.8%）。CIB部門のジョーズ効果はプラス（+1.4ポイント）でした。グローバル・バンキング事業（+1.6ポイント）、グローバル・マーケット事業（+2.9ポイント）および証券管理事業（+2.1ポイント）の3つの事業はいずれもプラスのジョーズ効果となりました。

これらを受けて、CIB部門の営業総利益は、当四半期において1,115百万ユーロとなり、前年同期比21.8%増の大幅増益でした。

CIB部門のリスク費用は、当四半期において157百万ユーロとなり、引当金の戻入があった2021年度第4四半期と比較して増加しました。

以上から、CIB部門の税引前利益は、当四半期において952百万ユーロに達し、2021年度第4四半期には引当金の戻入が計上されていたため、前年同期比5.0%減となりました。

\*  
\* \*

<sup>1</sup> Fixed Income, Currency and Commodities（債券、為替、コモディティ）



## コマーシャル&個人向けバンキングサービス (CPBS) 部門

2022年度通期において、CPBS部門の業績は、極めて高水準のジョーズ効果に加え、力強い事業活動に後押しされ、非常に好調に推移しました。

融資残高は、前年度比7.0%増の671十億ユーロで、すべての事業において大幅に増加しました。預金残高は、前年度比6.6%増と大幅に増加し、646十億ユーロに達し、すべての顧客セグメントで増加しました。プライベートバンキングへの当年度の資金純流入は旺盛で、10.7十億ユーロに達しました。

営業収益<sup>1</sup>は、当年度において28,301百万ユーロとなり、前年度比9.3%増の大幅増収でした。コマーシャル&個人向けバンキング事業の営業収益は、純利息収入の大幅な増加および手数料収入の増加により8.0%増、専門的金融事業の営業収益は、アルバルにより牽引され、12.0%増といずれも大幅増収でした。

営業費用<sup>1</sup>は、当年度において17,928百万ユーロで、前年度比6.0%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+4.2%）でした。ジョーズ効果は極めて高水準（+3.3ポイント）でした。

営業総利益<sup>1</sup>は、当年度において10,373百万ユーロとなり、前年度比15.5%増の大幅増益でした。

リスク費用<sup>1</sup>は、当年度において2,452百万ユーロで、前年度比5.6%減でした。

以上から、プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）へ配分した後のCPBS部門の税引前利益<sup>2</sup>は、当年度において8,000百万ユーロとなり、前年度比24.1%の大幅増益でした。

2022年度第4四半期において、営業収益<sup>1</sup>は、7,028百万ユーロとなり、前年同期比8.0%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+5.9%）の大幅増収でした。その要因は、コマーシャル&個人向けバンキング事業における純利息収入の増加による力強い伸び（+7.9%）および専門的金融事業（特にアルバル）における収益の大幅な増加（+8.3%）です。

当四半期における営業費用<sup>1</sup>は、前年同期比5.5%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+3.4%）の4,487百万ユーロでした。その要因は、堅調な事業活動、ならびにコマーシャル&個人向けバンキング事業および専門的金融事業における連結範囲の変更による影響でした。ジョーズ効果は極めて高水準（+2.5ポイント）でした。

これらを受けて、営業総利益<sup>1</sup>は、当四半期において2,542百万ユーロとなり、前年同期比12.8%増でした。

当四半期におけるリスク費用<sup>1</sup>は、前年同期比13.3%増の676百万ユーロでした。

以上から、プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）へ配分した後のCPBS部門の税引前利益<sup>2</sup>は、当四半期において1,770百万ユーロとなり、前年同期比7.3%増でした。

<sup>1</sup> コマーシャル&個人向けバンキング事業のプライベートバンキングの100%を含む（フランスの営業収益に対するPEL/CELの影響を含む）

<sup>2</sup> コマーシャル&個人向けバンキング事業のプライベートバンキングの3分の2を含む（PEL/CELの影響を含む）



## フランスのコマーシャル&個人向けバンキング (CPBF)

2022年度通期において、業績は大幅に向上し、事業活動も堅調に推移しました。融資残高は、前年度比4.8%増加し、すべての顧客セグメントで増加しました。預金残高も、前年度比4.8%増加し、すべての顧客セグメントで増加しました。オフバランス貯蓄商品は、不利な市場環境下において、2021年12月末比3.8%減でした。プライベートバンキングへの資金純流入は、6.2十億ユーロと堅調で、主に外部顧客の獲得および起業家とのシナジーが奏功しました。

営業収益<sup>1</sup>は、当年度において6,680百万ユーロとなり、前年度比6.6%増の大幅増収でした。純利息収入<sup>1</sup>は、有利な環境と専門的金融事業を手掛ける子会社の寄与により、4.9%増と大幅に増加しました。手数料収入<sup>1</sup>も、前年度比8.5%増と大幅に増加し、すべての顧客セグメントで増加しています。

営業費用<sup>1</sup>は、当年度において4,698百万ユーロとなり、事業開発およびコスト抑制措置の継続的な影響により、前年度比3.1%増となりました。ジョーズ効果は極めて高水準(+3.5ポイント)でした。

営業総利益<sup>1</sup>は、当年度において1,982百万ユーロとなり、前年度比15.7%増の大幅増益でした。

リスク費用<sup>1</sup>は、当年度において237百万ユーロ(前年度比204百万ユーロの削減)でした。リスク費用は、顧客向け融資残高の11ベースポイント相当で、低水準にとどまりました。これは、特に2022年度第4四半期における欧州の特定の基準に合わせるための方法変更に伴う影響(-163百万ユーロ)により、不良債権(ステージ3)に対するリスク費用が減少し、正常債権(ステージ1および2)に対する引当金の戻入が行われたことに起因しています。

以上から、フランス国内プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業(インベストメント&プロテクションサービス部門)へ配分した後のCPBFの税引前利益<sup>2</sup>は、当年度において1,613百万ユーロとなり、前年度比36.5%増の大幅増益でした。

2022年度第4四半期において、営業収益<sup>1</sup>は、1,670百万ユーロとなり、前年同期比3.9%増でした。純利息収入<sup>1</sup>は、預貸利鞘の段階的調整による影響を受けたものの、金利環境による好影響を受けて、2.0%増加しました。手数料収入<sup>1</sup>は、特に法人顧客セグメントにおいて6.1%増加しました。営業費用<sup>1</sup>は、当四半期において1,210百万ユーロとなり、前年同期比2.7%増でした。これは、事業開発によるものですが、コスト節減策の効果により抑制されました。ジョーズ効果はプラス(+1.2ポイント)でした。営業総利益<sup>1</sup>は、当四半期において460百万ユーロとなり、前年同期比7.1%増でした。リスク費用<sup>1</sup>は、欧州の特定の基準に合わせるための方法変更に伴い正常債権(ステージ1および2)に対する引当金の戻入(163百万ユーロ)が行われたため、21百万ユーロの戻入(前年同期は99百万ユーロの引当金繰入)となりました。リスク費用は、顧客向け融資残高の-4ベースポイント相当となりました。以上から、フランス国内プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業(インベストメント&プロテクションサービス部門)へ配分した後のCPBFの税引前利益<sup>2</sup>は、当四半期において433百万ユーロとなり、前年同期比54.5%増の大幅増益でした。

<sup>1</sup> プライベートバンキングの100%を含み、PEL/CELの営業収益に対する影響を含む(2022年度は+46百万ユーロ、2021年度は+29百万ユーロ、2022年度第4四半期は+8百万ユーロ、2021年度第4四半期は+6百万ユーロ)

<sup>2</sup> プライベートバンキングの3分の2を含む(PEL/CELの影響を含む)

**BNLバンカ・コメルシアーレ (BNL bc)**

2022年度通期において、BNL bcの事業活動は良好で、オペレーティングモデルの変革の恩恵を継続的に受けています。融資残高は、前年度比**2.1%**増でしたが、不良債権を除くと**4.1%**増でした。その要因は、住宅ローンおよびファクタリングの増加でした。預金残高は、前年度比**8.5%**増で、すべての顧客セグメント（特に法人顧客）で大きく増加しました。オフバランス貯蓄商品は、不利な市場環境下において、**2021年12月末比8.6%**減でした。

営業収益<sup>1</sup>は、当年度において**2,634**百万ユーロとなり、前年度比**1.7%**減（連結範囲の変更<sup>2</sup>による影響を除くと同**-0.1%**）でした。純利息収入<sup>1</sup>は、**1.3%**減でした。金利環境による預金への好影響は、預貸利鞘の段階的調整により相殺されました。手数料収入<sup>1</sup>は、**2.2%**減少しましたが、連結範囲の変更<sup>2</sup>による影響を除くと**1.5%**増加しました。これは、特に法人顧客セグメントの銀行手数料の増加によるものでしたが、金融手数料の減少により一部相殺されました。

営業費用<sup>1</sup>は、当年度において**1,735**百万ユーロとなり、オペレーティングモデルの革変および事業適応策（イタリアの年金改革「クオータ100」を活用した早期退職制度）の効果により、前年度比**2.5%**減（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同**-0.5%**）でした。ジョーズ効果はプラス（**+0.8**ポイント）でした。

これらを受けて、営業総利益<sup>1</sup>は、当年度において**899**百万ユーロとなり、前年度比ほぼ横ばいでした。

リスク費用<sup>1</sup>は、当年度において**465**百万ユーロ（前年度比**22**百万ユーロの削減）でした。リスク費用は、顧客向け融資残高の**58**ベースポイント相当と低い水準で、不良債権（ステージ3）に対する引当金が前年度と比較して減少したことを反映しています。

以上から、イタリア国内プライベートバンキング業務の純利益の**3分の1**をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）へ配分した後のBNL bcの税引前利益<sup>3</sup>は、当年度において**410**百万ユーロとなり、前年度比**8.8%**増でした。

2022年度第4四半期において、営業収益<sup>1</sup>は、**656**百万ユーロとなり、前年同期比**1.9%**減（連結範囲の変更<sup>2</sup>による影響を除くと横ばい）でした。純利息収入<sup>1</sup>は、**0.2%**減でした。金利環境による預金への好影響は、預貸利鞘の段階的調整により相殺されました。手数料収入<sup>1</sup>は、**3.9%**減少しましたが、連結範囲の変更<sup>2</sup>による影響を除くと増加しました（**+0.3%**）。これは、銀行手数料の増加によるものでしたが、金融手数料の減少により一部相殺されました。営業費用<sup>1</sup>は、当四半期において**426**百万ユーロとなり、主としてオペレーティングモデルの革変および事業適応策（イタリアの年金改革「クオータ100」を活用した早期退職制度）の効果により、前年同期比**2.9%**減（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同**-0.5%**）でした。ジョーズ効果はプラス（**+1.0**ポイント）でした。営業総利益<sup>1</sup>は、当四半期において**230**百万ユーロで、前年同期比ほぼ横ばいでした。リスク費用<sup>1</sup>は、当四半期において**114**百万ユーロ（前年同期比**28**百万ユーロの削減）でした。リスク費用は、低水準にとどまり（顧客向け融資残高の**57**ベースポイント相当）、不良債権（ステージ3）に対する引当金の減少を反映しています。以上から、イタリア国内プライベートバンキング業務の純利益の**3分の1**をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）へ配分した後のBNL bcの税引前利益<sup>3</sup>は、当四半期において**111**百万ユーロとなり、前年同期比**41.8%**増の大幅増益でした。

<sup>1</sup>プライベートバンキングの100%を含む

<sup>2</sup>2022年1月2日付けの事業売却

<sup>3</sup>プライベートバンキングの3分の2を含む



## ベルギーのコマーシャル&個人向けバンキング (CPBB)

2022年度通期において、CPBBの事業活動は、大きく成長しました。融資残高は、前年度比14.8%増（連結範囲の変更<sup>1</sup>による影響を除くと同+7.5%）で、その要因は、bpost bankが大きく寄与し、個人向け貸出と特に住宅ローンが大幅に増加したことでした（+8.4十億ユーロ）。法人向け貸出が大幅に増加しました（前年度比+12.7%）。預金残高の伸びはbpost bankの統合により加速し（+11.3十億ユーロ）、預金残高は前年度比9.2%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+1.2%）でした。オフバランス貯蓄商品は、不利な市場環境下において、2021年12月末比7.6%減でした。プライベートバンキングへの資金純流入は、2.1十億ユーロと良好でした。

営業収益<sup>2</sup>は、当年度において3,764百万ユーロとなり、前年度比7.3%増の大幅増収でした。純利息収入<sup>2</sup>は、すべての顧客セグメントに支えられ、8.9%増と大幅に増加しました。手数料収入<sup>2</sup>は、前年度比3.6%増でした。これは、トランザクションバンキングおよび法人顧客により支えられて銀行手数料が増加したことに起因しますが、金融手数料の減少により一部相殺されました。

営業費用<sup>2</sup>は、当年度において2,615百万ユーロとなり、前年度比9.7%増（連結範囲の変更<sup>1</sup>による影響を除くと同+4.0%）でした。その要因は、事業開発およびインフレの影響でしたが、コスト節減策および支店網最適化策の効果により一部相殺されています。

営業総利益<sup>2</sup>は、当年度において1,149百万ユーロとなり、前年度比2.1%増でした。

リスク費用<sup>2</sup>は、当年度において36百万ユーロ（前年度比63百万ユーロの削減）となり、顧客向け融資残高の3ベースポイント相当と極めて低い水準でした。

以上から、ベルギー国内プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）へ配分した後のCPBBの税引前利益<sup>3</sup>は、当年度において、前年度比7.8%増の1,049百万ユーロとなりました。

2022年度第4四半期において、営業収益<sup>2</sup>は、前年同期比10.9%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+4.3%）で、947百万ユーロに達しました。純利息収入<sup>2</sup>は、15.9%増と大幅に増加しました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+6.5%）が、有利な金利環境においてbpost bankの統合により預金増に拍車がかかったことが寄与しています。手数料収入<sup>2</sup>は、0.2%増加しました。これは、銀行手数料の増加によるものですが、金融手数料の減少により一部相殺されました。営業費用<sup>2</sup>は、当四半期において598百万ユーロとなり、前年同期比10.8%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+4.0%）でした。その要因は、事業開発支援およびインフレでしたが、コスト節減策および支店網最適化策により一部相殺されています。ジョーズ効果はプラスでした。営業総利益<sup>2</sup>は、前年同期比11.0%増の348百万ユーロとなりました。リスク費用<sup>2</sup>は、当四半期において20百万ユーロ（前年同期は28百万ユーロの戻入）で、顧客向け融資残高の6ベースポイント相当と極めて低い水準でした。以上から、ベルギー国内プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）へ配分した後のCPBBの税引前利益<sup>3</sup>は、リスク費用の増加を反映して、当四半期において303百万ユーロとなり、前年同期比7.2%減でした。

<sup>1</sup> bpost bankを2022年1月1日付けで統合

<sup>2</sup> プライベートバンキングの100%を含む

<sup>3</sup> プライベートバンキングの3分の2を含む



## ルクセンブルクの商業&個人向けバンキング (CPBL)

2022年度通期において、CPBLの事業活動は好調でした。融資残高は、前年度比6.4%増で、すべての顧客セグメントで増加しました。預金残高は、前年度比7.2%増でした。オフバランス貯蓄商品は、市場動向が響き、2021年12月末比14.4%減でした。

営業収益<sup>1</sup>は、当年度において475百万ユーロとなり、前年度比11.2%増の大幅増収でした。純利息収入<sup>1</sup>は、取引高の増加に加え、法人顧客の預貸利鞘が堅調で、11.3%増の大幅増収でした。手数料収入<sup>1</sup>は、銀行手数料および法人顧客が寄与し、前年度比10.8%増でした。

営業費用<sup>1</sup>は、当年度において275百万ユーロに抑制しました（前年度比+2.4%）。ジョーズ効果は極めて高水準（+8.8ポイント）でした。

営業総利益<sup>1</sup>は、当年度において200百万ユーロとなり、前年度比26.1%増の大幅増益でした。

リスク費用<sup>1</sup>は、当年度において19百万ユーロの戻入（前年度は2百万ユーロの戻入）でした。

以上から、ルクセンブルク国内プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）へ配分した後のCPBLの税引前利益<sup>2</sup>は、当年度において前年度比43.7%増と大幅に増加し、216百万ユーロに達しました。

2022年度第4四半期において、営業収益<sup>1</sup>は、前年同期比15.2%増と大幅に増加し、130百万ユーロに達しました。純利息収入<sup>1</sup>は、前年同期比21.4%増と大幅に増加しました。手数料収入<sup>1</sup>は、5.5%減でした。営業費用<sup>1</sup>は、当四半期において67百万ユーロとなり、前年同期比5.0%増でした。リスク費用<sup>1</sup>は、当四半期において9百万ユーロの戻入（前年同期は3百万ユーロ）でした。以上から、ルクセンブルク国内プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）へ配分した後のCPBLの税引前利益<sup>2</sup>は、当四半期において70百万ユーロに達し、前年同期比39.3%増（前年同期は50百万ユーロ）でした。

## 欧州・地中海沿岸諸国

2022年度通期において、欧州・地中海沿岸諸国の事業活動は好調でした。融資残高は、特にポーランドを中心に法人顧客の取引高が増加したことにより、前年度比17.7%増<sup>3</sup>でした。融資組成は、特にポーランドおよびトルコの個人顧客向けにおいて慎重でした。預金残高は、前年度比21.8%増<sup>3</sup>で、ポーランドおよびトルコ（特に法人顧客）において増加しました。欧州・地中海沿岸諸国では、デジタル化の推進および革変を継続しています。サハラ以南アフリカ諸国における事業の売却は、完了の過程にあります。

営業収益<sup>1</sup>は、当年度において2,346百万ユーロとなり、前年度比32.5%増<sup>4</sup>の大幅増収でした。これは、ポーランドにおける2021年度第4四半期および2022年度第4四半期のローンに関連するマイナス項目の影響があったものの、預金に係る純利息収入<sup>1</sup>が大幅に増加したことにより起きていると見られます。

営業費用<sup>1</sup>は、当年度において1,649百万ユーロとなり、前年度比11.3%増<sup>4</sup>で、その要因は特に、高い賃金インフレでした。ジョーズ効果は極めて高水準（+21.2ポイント<sup>4</sup>）でした。

営業総利益<sup>1</sup>は、当年度において697百万ユーロに達し、前年度比139.4%増<sup>4</sup>でした。

リスク費用<sup>1</sup>は、当年度において153百万ユーロ（前年度比9百万ユーロ増）となり、顧客向け融資残高の41ベースポイント相当と低い水準で、不良債権（ステージ3）に対する引当金の減少を反映しています。

以上から、トルコおよびポーランドの国内プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）へ配分した後の欧州・地中海沿岸諸国の税引前利益<sup>2</sup>は、

<sup>1</sup>プライベートバンキングの100%を含む

<sup>2</sup>プライベートバンキングの3分の2を含む

<sup>3</sup>連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

<sup>4</sup>連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く。ただし、トルコについては国際会計基準（IAS）第29号に従って為替レート変動による影響を含む。



当年度において817百万ユーロに達し、前年度比2倍超になりました。当年度において、トルコのハイパーインフレによる影響<sup>1</sup>は、全体的にプラスでした（-6百万ユーロ）。

**2022年度第4四半期**において、営業収益<sup>2</sup>は、534百万ユーロとなり、前年同期比35.5%増<sup>3</sup>の大幅増収でした。これは、ポーランドにおける**2021年度第4四半期**および**2022年度第4四半期**のローンに関連するマイナス項目の影響があったものの、預金に係る純利息収入<sup>2</sup>が大幅に増加したことに起因しています。営業費用<sup>2</sup>は、当四半期において417百万ユーロとなり、前年同期比17.2%増<sup>3</sup>でした。ジョーズ効果は極めて高水準（+18.4ポイント<sup>3</sup>）でした。営業総利益<sup>2</sup>は、前年同期比で倍増<sup>3</sup>し、118百万ユーロに達しました。リスク費用<sup>2</sup>は、22百万ユーロの削減となりました（当四半期は10百万ユーロ）。リスク費用は、顧客向け融資残高の11ベシスポイント相当と極めて低い水準で、正常債権（ステージ1および2）に対する引当金の緩やかな戻入を反映しています。以上から、トルコおよびポーランドの国内プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）へ配分した後の欧州・地中海沿岸諸国の税引前利益<sup>4</sup>は、当四半期において122百万ユーロに達しました（前年同期は63百万ユーロ）。トルコのハイパーインフレによる影響<sup>1</sup>は、当四半期において全体的に限定的でした（-4百万ユーロ）。

## バンクウエスト

**2022年度通期**において、バンクウエストは、好調な事業活動を維持しました。融資残高は、住宅ローンおよび法人向け貸出の堅調な伸びに牽引され、前年度比3.8%増<sup>3</sup>でした。預金残高は6.0%減<sup>3</sup>で、これには顧客預金<sup>5</sup>の減少（-6.0%<sup>3</sup>）およびマネーマーケット預金の減少が含まれていました。プライベートバンキング業務の運用資産残高は、2022年12月末時点で18.7十億ドルに達しました。

2023年2月1日、当グループは、Bank of the West, Inc.につき、BMO Financial Groupへの売却を完了したことを発表しました。

営業収益<sup>2</sup>は、当年度において2,731百万ユーロとなり、前年度比0.2%増<sup>3</sup>でした。その要因は純利息収入の増加で、預貸利鞘が改善し、取引高が増加し、銀行手数料収入が好調であったこと等が寄与しています。

営業費用<sup>2</sup>は、目標を絞ったプロジェクトに伴い、当年度において前年度比8.5%増<sup>3</sup>の2,061百万ユーロとなりました。

営業総利益<sup>2</sup>は、当年度において670百万ユーロとなり、前年度比18.7%減<sup>3</sup>でした。

リスク費用<sup>2</sup>は、特に**2022年度第1四半期**における正常債権（ステージ1および2）に対する引当金の戻入により、当年度において39百万ユーロの戻入（顧客向け融資残高の-7ベシスポイント相当）となりました。

以上から、米国プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）に配分した後のバンクウエストの税引前利益<sup>4</sup>は、当年度において660百万ユーロとなり、前年度比24.1%減<sup>3</sup>でした。

**2022年度第4四半期**において、営業収益<sup>2</sup>は、722百万ユーロとなり、純利息収入の急増に伴い、前年同期比3.2%増<sup>3</sup>でした。営業費用<sup>2</sup>は、当四半期において525百万ユーロとなり、特に目標を絞ったプロジェクトにより、前年同期比3.2%増<sup>3</sup>でした。これを受けて、営業総利益<sup>2</sup>は、当四半期において197百万ユーロとなり、前年同期比3.3%増<sup>3</sup>でした。リスク費用<sup>2</sup>は、公衆衛生危機に関連して正常債権（ステージ1および2）に対する引当金の大幅な戻入が行われた前年同期に対し、当四半期において76百万ユーロでした。以上から、米国プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）に配分した後のバンクウエストの税引前利益<sup>4</sup>は、当四半期において104百万ユーロに達し、リスク費用の変動により、前年同期比51.9%減<sup>3</sup>でした。

<sup>1</sup>IAS第29号「超インフレ経済下における財務報告」の適用とCPI連動債によるヘッジの効果を考慮し、現在は「その他の営業外項目」に計上

<sup>2</sup>プライベートバンキングの100%を含む

<sup>3</sup>連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く。ただし、トルコについては国際会計基準（IAS）第29号に従って為替レート変動による影響を含む。

<sup>4</sup>プライベートバンキングの3分の2を含む

<sup>5</sup>財務活動に関わる預金を除く



## 専門的金融事業—パーソナル・ファイナンス

2022年度通期において、融資残高は、Floaの融資残高の50%（2022年2月1日から連結。1十億ユーロ）を含めると前年度比3.5%増、除いた場合には同2.5%増でした。パーソナル・ファイナンスは、事業を転換し、適応させています。

営業収益は、当年度において5,387百万ユーロとなり、前年度比3.3%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+0.3%）でした。これは、取引高の増加によるものでしたが、預貸利鞘への強い圧力により一部相殺されました。

営業費用は、当年度において2,922百万ユーロとなり、前年度比4.2%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+1.4%）でした。その要因は、目標を絞ったプロジェクトおよび事業開発支援でした。

営業総利益は、当年度において2,465百万ユーロ（前年度比+2.2%）でした。

リスク費用は、当年度において1,373百万ユーロ（前年度比59百万ユーロ増）でした。リスク費用は、顧客向け融資残高の143ベースポイント相当と低い水準でした。これは、不良債権（ステージ3）に対する引当金の減少を反映し、商品構成の変化（特に自動車ローンのシェア上昇）に伴ってリスクプロファイルが構造的に改善したことが寄与しました。

以上から、パーソナル・ファイナンスの税引前利益は、当年度において1,121百万ユーロとなり、前年度比4.6%減でした。

2022年度第4四半期において、営業収益は、1,283百万ユーロとなり、前年同期比0.9%減（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同-4.0%）でした。その要因は、預貸利鞘への強い圧力でした。営業費用は、目標を絞ったプロジェクトの支援に伴い、当四半期において739百万ユーロとなり、前年同期比4.1%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+0.7%）でした。営業総利益は、当四半期において、前年同期比7%減の544百万ユーロでした。リスク費用は、当四半期において前年同期比19.2%増の413百万ユーロとなり、170ベースポイント相当でした。不良債権に対する引当金は、前年同期比で減少しました。当四半期には、正常債権（ステージ1および2）に対する引当金を計上しました。以上から、パーソナル・ファイナンスの税引前利益は、当四半期において111百万ユーロとなり、前年同期比57.0%減（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同-50.2%）でした。この減少の要因は、リスク費用が増加したことに加え、2021年度第4四半期に高水準であった関連会社の寄与が減少したことでした。

## 専門的金融事業—アルバルとリーシング・ソリューションズ

2022年度通期において、専門的金融事業であるアルバルとリーシング・ソリューションズは、非常に好調な業績を達成しました。

アルバルのファイナンスフリートの契約台数は、前年度比8.3%増<sup>1</sup>でした。中古車価格は、高水準で推移しました。リーシング・ソリューションズのファイナンスリース残高は前年度比3.9%増<sup>2</sup>で、商業用のモメンタムが堅調でした。

営業収益は、当年度において3,438百万ユーロとなり、前年度比28.5%増の大幅増収でした。中古車価格の高騰によりアルバルの業績が非常に好調であったことに加え、リーシング・ソリューションズにおけるファイナンスリース残高の増加による伸びが寄与しました。

営業費用は、当年度において1,395百万ユーロとなり、前年度比7.4%増でした。ジョーズ効果は極めて高水準（+21.1ポイント）でした。

営業総利益は、当年度において2,043百万ユーロとなり、前年度比48.4%増の大幅増益でした。

税引前利益は、当年度において1,957百万ユーロとなり、前年度比1.6倍の増益でした。

<sup>1</sup> 期末におけるフリート契約台数の増加（千台）。Terberg Business LeaseおよびBCRの買収による影響を除くと+5.5%。

<sup>2</sup> 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く



2022年度第4四半期において、営業収益は、858百万ユーロとなり、前年同期比21.0%増でした。中古車価格の高騰とファイナンスフリートの契約台数の自立的成長によりアルバルの業績が非常に好調であったことに加え、リーシング・ソリューションズにおいてもファイナンスリース残高の増加により業績が好調であったことが寄与しました。営業費用は、当四半期において347百万ユーロとなり、前年同期比5.8%増でした。ジョーズ効果は極めて高水準（+15.3ポイント）で、低コストで成長できる力を反映しています。アルバルとリーシング・ソリューションズの税引前利益は、当四半期において491百万ユーロに達し、前年同期比38.8%増の大幅増益でした。この利益には、IAS第29号の適用により「その他の営業外項目」に計上されている、当四半期におけるトルコのハイパーインフレによる影響（+7百万ユーロ）が含まれています。

## 専門的金融事業－ニューデジタル事業（Nickel、Floa、Lyf）と個人投資家事業

2022年度通期において、ニューデジタル事業と個人投資家事業は、全体的に良好な業績を達成しました。Nickelは欧州で展開を続け、2022年度にはベルギーおよびポルトガルにおいてサービス提供を開始し、口座開設数は2022年12月末時点で約3.0百万に達しています<sup>1</sup>。当グループはフランスの後払い決済最大手Floaの買収を2022年1月31日に完了しており、同社の顧客は4.0百万人に上ります。個人投資家事業では、不利な市場環境下においても、注文数は高水準を維持しています。

営業収益<sup>2</sup>は、当年度において846百万ユーロとなり、前年度比13.7%増の大幅増収でした。ニューデジタル事業の営業収益は、事業開発に伴い、大幅に増加しました。個人投資家事業の営業収益<sup>2</sup>は、不利な市場環境下において減少しました。

営業費用<sup>2</sup>は、当年度において578百万ユーロとなり、前年度比12.8%増と大幅に増加しました。費用増の要因は、事業開発戦略でした。ジョーズ効果はプラス（+1.0ポイント）でした。

営業総利益<sup>2</sup>は、当年度において268百万ユーロとなり、前年度比15.9%増の大幅増益でした。

リスク費用<sup>2</sup>は、当年度において100百万ユーロ（前年度は5百万ユーロ）で、Floaの寄与の50%が2022年2月1日から連結されたことに伴い増加しました。

以上から、ドイツ国内プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）に配分した後のニューデジタル事業と個人投資家事業の税引前利益<sup>3</sup>は、当年度において157百万ユーロとなり、前年度比29.4%減でした。

2022年度第4四半期において、営業収益<sup>2</sup>は、228百万ユーロとなり、前年同期比23.6%増の大幅増収でした。増収の要因は、Nickelの大幅な拡大およびFloaの寄与の50%の連結でしたが、不利な市場環境下での個人投資家事業の減収により相殺されました。営業費用<sup>2</sup>は、当四半期において158百万ユーロとなり、前年同期比10.6%増でした。費用増の要因は、ニューデジタル事業の事業開発費用でした。ジョーズ効果はプラス（+13.0ポイント）でした。営業総利益<sup>2</sup>は、当四半期において70百万ユーロとなり、前年同期比68.7%増でした。リスク費用<sup>2</sup>は、Floa関連の引当を含め、42百万ユーロでした。以上から、ドイツ国内プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）に配分した後のニューデジタル事業と個人投資家事業の税引前利益<sup>3</sup>は、当四半期において25百万ユーロとなり、前年同期比46.6%減でした。減益の主因はリスク費用でした。

\*  
\* \*

<sup>1</sup>すべての国の合計（設立来）

<sup>2</sup>ドイツ国内プライベートバンキングの100%を含む

<sup>3</sup>ドイツ国内プライベートバンキングの3分の2を含む



## インベストメント&プロテクションサービス (IPS) 部門

2022年度通期において、IPS部門の業績は厳しい環境にもかかわらず、高いレベルの活動に牽引され、大幅に上昇しました。資金純流入は好調 (+31.9十億ユーロ) で、特にウェルス・マネジメント事業およびアセット・マネジメント事業へのプラスの純流入が牽引しました。不動産管理事業および保険事業は、フランスの貯蓄型保険の好調な動きに牽引され、持ちこたえました。

営業収益は当年度において6,670百万ユーロとなり、前年度比3.0%増でした。これはウェルス・マネジメント事業の営業収益の大幅な増加および不動産管理事業の好調な成長によるものでした。アセット・マネジメント事業および保険事業の営業収益は、市場環境の影響を受けました。

営業費用は当年度において4,363百万ユーロとなり、前年度比3.5%増加し、これは事業開発支援や的を絞った取組みに関連したものでした。連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、ジョーズ効果はほぼゼロでした。

営業総利益は当年度において2,307百万ユーロとなり、前年度比2.2%の増加となりました。

IPS部門の税引前利益は当年度において2,620百万ユーロとなり、前年度比4.8%増となりました。当年度および前年度の税引前利益には、売却譲渡益のプラスの影響と、2022年度の関連会社からの大きな貢献が含まれています。

2022年度第4四半期において、営業収益は1,665百万ユーロとなり、前年同期比1.6%増でした。この増加は、ウェルス・マネジメント事業およびプリンシパル・インベストメントにおける営業収益の大幅な増加により牽引されました。貯蓄型保険と保障保険の全体的な改善にもかかわらず、運用成績の低下により、保険事業の営業収益は減少しました。アセット・マネジメント事業の営業収益は、非常に不利な市場環境によって引き下げられました。

コスト抑制策により営業費用は当四半期において1,157百万ユーロとなり、前年同期比0.6%減となりました。ジョーズ効果は高水準でした (+2.1ポイント)。

営業総利益は当四半期において508百万ユーロとなり、前年同期比6.8%増と急増しました。

IPS部門の税引前利益は当四半期において582百万ユーロとなり、前年同期比8.3%の大幅増益でした。

### 資金純流入と運用資産残高

2022年12月31日現在、運用資産残高<sup>1</sup>は1,189十億ユーロとなりました。2021年12月31日と比較して6.9%減少しましたが、主因は非常に不利な市場動向の影響 (-129.9十億ユーロ) によるものであり、その一部は資金純流入 (31.9十億ユーロ) および有利な為替レートの影響 (+9.3十億ユーロ) によって相殺されました。その他の影響はプラス (+1.2十億ユーロ) でした。

当年度の資金純流入の合計は+31.9十億ユーロに達しました。ウェルス・マネジメント事業における資金純流入は、欧州、特にフランスにおけるコマーシャル&個人向けバンキング事業ならびにドイツおよびアジアにおける事業活動に牽引され、非常に多くなりました。アセット・マネジメント事業への資金流入は好調で、これは中長期ファンドの資金純流入および2022年度第4四半期のマネー・マーケット・ファンドへの資金純流入が回復したことによるものでした。保険事業への資金純流入は特にユニットリンク保険勘定において堅調であり、とりわけフランスにおいては総流入額が堅調でした。

2022年12月31日現在の運用資産残高<sup>1</sup>の内訳は、アセット・マネジメント業務 (アセット・マネジメント事業、不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメント) が532十億ユーロ、ウェルス・マネジメント事業が411十億ユーロ、保険事業が247十億ユーロとなっています。

<sup>1</sup> 分配金を含む



## 保険事業

2022年度通期において、不利な市場環境のなか保険事業は持ちこたえ、事業活動は堅調でした。当年度の貯蓄型保険への資金総流入額は**22.8**十億ユーロに達し、資金純流入の大部分はユニットリンク保険勘定へのものでした。保障保険の販売はフランス国内で伸びを続け、とりわけ債務者向け保険が好調で、個人向け保険および損害保険が大幅に増加しました。国際的には、南米において力強く回復しました。

営業収益は前年度比**1.9%**減少し、当年度において**2,774**百万ユーロでした。これは、貯蓄型保険と保障保険の成長にもかかわらず、当年度の金融市場の比較的顕著な下落が運用成績を押し下げたことによるものでした。

営業費用は当年度において**1,558**百万ユーロとなり、前年度比**1.4%**増加し、これは事業開発支援や目標を絞ったプロジェクトの推進によるものでした。

保険事業の税引前利益は当年度において**1,376**百万ユーロとなり、前年度の低水準と比較して関連会社による貢献が増加したことにより、前年度比**0.5%**増加しました。

2022年度第4四半期において、保険事業の営業収益は**608**百万ユーロとなり、前年同期比**7.2%**減でした。貯蓄型保険と保障保険が全体的に好調でしたが、運用成績の低下の影響により相殺されました。営業費用は当四半期において**387**百万ユーロとなり、営業費用の最適化策により前年同期比**5.7%**減少しました。税引前利益は**253**百万ユーロとなり、前年同期比**6.8%**減少しました。

## ウェルス&アセット・マネジメント事業<sup>1</sup>

2022年度通期において、ウェルス&アセット・マネジメント事業の業績は良好でした。ウェルス・マネジメント事業では高水準の資金純流入が特にコマーシャル&個人向けバンキング事業で見られ、富裕層関連も順調でした。アセット・マネジメント事業もまた、中長期ファンドおよびマネー・マーケット・ファンドを中心に、当年度後半に回復を見せ、高水準の資金純流入を実現しました。不動産管理事業は好調で、特にインベストメント・マネジメント、プロパティ・マネジメントおよびアドバイザリー業務（フランス）が堅調でした。

ウェルス&アセット・マネジメント事業の営業収益は、当年度において**3,896**百万ユーロとなり、前年度比**6.8%**増でした。増収要因として、ウェルス・マネジメント事業が純利息収入の伸びに伴って増収となったこと、プリンシパル・インベストメントの営業収益が大幅に増加したこと、および不動産管理事業の営業収益が増加したことが挙げられます。アセット・マネジメント事業の営業収益は、不利な市場環境の影響を受けました。

営業費用は当年度において**2,806**百万ユーロとなり、前年度比**4.6%**増でした。ウェルス・マネジメント事業と不動産管理事業の事業開発支援で嵩みました。

ウェルス&アセット・マネジメント事業の税引前利益は当年度において**1,244**百万ユーロとなり、前年度比**10.0%**増でした。この中には、前年度比での当年度の売却譲渡益低減の影響が含まれています。

2022年度第4四半期において、ウェルス&アセット・マネジメント事業の営業収益は**1,057**百万ユーロとなり、前年同期比**7.4%**増でした。ウェルス・マネジメント事業が非常に好調な業績で、純利息収入は力強く伸び、プリンシパル・インベストメントの営業収益も大幅に増え、不利な市場環境の影響を受けたアセット・マネジメント事業の営業収益および不動産管理事業（特にアドバイザリー業務）の不振を相殺しました。営業費用は**771**百万ユーロと前年同期比**2.2%**増である一方、アセット・マネジメント事業における営業費用は減少しました。ジョーズ効果は極めて良好でした（**+5.2**ポイント）。以上から、ウェルス&アセット・マネジメント事業の税引前利益は当四半期に**328**百万ユーロとなり、前年同期比**23.7%**増でした。

<sup>1</sup>アセット・マネジメント、ウェルス・マネジメント、不動産管理、プリンシパル・インベストメント



## コーポレート・センター

現在、コーポレート・センターの連結範囲にプリンシパル・インベストメンツは含まれておらず、プリンシパル・インベストメンツはインベストメント&プロテクションサービス（IPS）部門に連結されています。

2022年度通期において、コーポレート・センターの営業収益は**-279**百万ユーロ（前年度は**308**百万ユーロ）でした。前年度の営業収益は、非経常的項目のプラス影響が高水準で、特に、インドの**SBI Life株4.99%**の売却により譲渡益が生じた影響（**+58**百万ユーロ）、**2020年度**における事業の移管のために設定したスワップによる会計上の累積的影響（**+86**百万ユーロ）、非経常的項目のプラス影響（**+91**百万ユーロ）が含まれていました。当年度は、デリバティブに含まれる自己勘定の信用リスク再評価のプラス影響（**+185**百万ユーロ）が含まれますが、**2022年度第1四半期**の非経常的項目のマイナスの影響より相殺されました。

営業費用は、当年度において**1,067**百万ユーロとなり、前年度と比較して増加しました（**903**百万ユーロ）。当年度の営業費用には、**IFRIC 21「賦課金」**の増加に加え、一時項目として、事業再編費用と事業適応費用が**188**百万ユーロ（前年度は**164**百万ユーロ）、およびIT強化費用が**314**百万ユーロ（前年度は**128**百万ユーロ）含まれています。

リスク費用は、当年度において**185**百万ユーロとなり、前年度と比較して**26**百万ユーロ増加しました。当年度のリスク費用には、**2022年度第3四半期**にポーランドの「債務者支援法」により生じた一時的影響（**204**百万ユーロ）が含まれています。

その他の営業外項目は、当年度において**-59**百万ユーロでした（前年度は**775**百万ユーロ）。当年度の営業外項目には**Ukrsibbank株式**の減損（**-159**百万ユーロ）および為替換算差額<sup>1</sup>の純損益への分類変更に伴うマイナス影響（**-274**百万ユーロ）が反映され、この一部は**bpost bank**の負ののれんから生じたプラス影響（**+244**百万ユーロ）、持分売却による譲渡益（**+204**百万ユーロ）で相殺されました。前年度の営業外項目には、一時項目として、建物売却による譲渡益（**+486**百万ユーロ）、**Allfunds株式**の売却<sup>2</sup>による譲渡益（**+444**百万ユーロ）、減価償却費（**-74**百万ユーロ）が含まれていました。

以上から、コーポレート・センターの税引前損益は、当年度における一時項目の減少が反映され、**-1,567**百万ユーロ（前年度は**+38**百万ユーロ）となりました。

2022年度第4四半期において、コーポレート・センターの営業収益は**-249**百万ユーロでした（前年同期は**-5**百万ユーロ）。当四半期の営業収益には、デリバティブに含まれる自己勘定の信用リスク再評価の影響（**-16**百万ユーロ）が含まれています。なお、前年同期における営業収益には、高水準の非経常的項目のプラス影響が含まれており、特に、そのプラス影響は**+91**百万ユーロに上りました。営業費用は当四半期において**190**百万ユーロでした。当四半期の営業費用には、一時項目として、事業再編費用と事業適応費用が**103**百万ユーロ（前年同期は**61**百万ユーロ）、およびIT強化費用が**85**百万ユーロ（前年同期は**21**百万ユーロ）含まれています。リスク費用は、前年同期はゼロでしたが、当四半期は**59**百万ユーロの戻入となりました。その他の営業外項目は、当四半期において**51**百万ユーロとなりました（前年同期は**247**百万ユーロ）。なお、前年同期の営業外項目には、一時項目として、建物売却による譲渡益（**+184**百万ユーロ）、減損損失における引当金戻入純益（**+75**百万ユーロ）が含まれていました。以上から、コーポレート・センターの税引前損益は、**-366**百万ユーロとなりました（前年同期は**-18**百万ユーロ）。

<sup>1</sup> 従前、連結資本に計上

<sup>2</sup> Allfunds持分8.69%の売却



## 財務構造

当グループの財務構造は極めて盤石です。

普通株式等Tier1比率は2022年12月末現在12.3%<sup>1</sup>で、2022年9月末の水準から20ベースポイント上昇しました。この主因は、2022年度第3四半期の純利益を剰余金に計上したこと（配当性向60%を考慮後。当年度におけるバンクウエストの寄与を含む。）、およびリスクアセットが変動したこと（+20ベースポイント）です。他の要因が普通株式等Tier1比率に及ぼした影響は全体として限定的でした。

普通株式等Tier1比率は、2021年12月末以降、変化しています。この主因は以下の通りです。

- 当年度の純利益を剰余金に計上（配当性向60%とリスクアセットの自律的成長を考慮後）：  
+30ベースポイント
- 成長加速の影響：-20ベースポイント
- 市場価格が「その他の包括利益（OCI）」に及ぼした影響：-40ベースポイント
- モデルの更新や規制の改定の影響<sup>2</sup>：-30ベースポイント

レバレッジ比率<sup>3</sup>は2022年12月末現在4.4%でした。

即時利用可能な剰余資金は、2022年12月末現在で461十億ユーロに上りました。これは資金調達との関係で1年超の余裕資金があることを意味しています。

<sup>1</sup>資本要求指令4（CRD4）。国際財務報告基準（IFRS）第9号経過規定を含む

<sup>2</sup>特に内部格付手法（IRB）の修正、為替の構造持高に関する新たなリスク規制、トルコのハイパーインフレ状況の影響を含む

<sup>3</sup>規則（EU）2019/876に従って算定

**IFRS第5号適用 – 比較表（未監査）**

BNPパリバ・グループは2021年12月20日、カナダの金融大手BMO Financial Groupとバンクウェストが運営する米国商業銀行事業すべてを売却することについて合意したと発表しました。当該取引の条件は、当グループが売却目的で保有する資産・負債に関してIFRS第5号の適用範囲に該当します（注記7.d「2022年12月31日付け連結財務諸表の非継続事業」参照）。

Bank of the WestのBMO Financial Groupへの売却は、2023年2月1日に完了しています。

特段の記載がない限り、この発表の財務情報・項目は、業務見通しを反映するバンクウェスト関連事業を含みます。したがって同財務情報・項目は、売却目的で保有する非流動資産・負債に関連するIFRS第5号適用の影響を反映することはありません。本プレスリリースでは、下記の通り、IFRS第5号を非適用とした業務見通しと、IFRS第5号を適用した連結財務諸表を比較しています。

**2022年度通期の連結損益計算書 – IFRS第5号比較表**

BNP PARIBAS

**BNPパリバの損益計算書 – 2022年度通期****IFRS第5号適用 – 比較表**

(単位：百万ユーロ)	2022年度通期	2022年度通期	2022年度通期	2021年度通期	2021年度通期	2021年度通期
	IFRS第5号適用前	IFRS第5号の影響	IFRS第5号適用後	IFRS第5号適用前	IFRS第5号の影響	IFRS第5号適用後
受取利息純額	23,168	(2,337)	20,831	21,209	(1,971)	19,238
受取手数料純額	10,570	(392)	10,178	10,717	(355)	10,362
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の純益	9,375	(17)	9,358	7,681	(66)	7,615
株式を通じて公正価値で測定する金融資産の純益	154	(16)	138	181	(17)	164
償却原価で測定する金融資産の認識中止に係る純利益	(41)	-	(41)	36	(38)	(2)
保険事業の純利益	4,296	-	4,296	4,332	-	4,332
その他事業の純利益	2,897	(26)	2,871	2,079	(26)	2,053
<b>営業収益</b>	<b>50,419</b>	<b>(2,788)</b>	<b>47,631</b>	<b>46,235</b>	<b>(2,473)</b>	<b>43,762</b>
従業員給与および従業員給付制度に関わる費用	(18,783)	1,178	(17,605)	(17,377)	960	(16,417)
その他営業費用	(12,347)	651	(11,696)	(11,234)	529	(10,705)
有形固定資産・無形固定資産の減価償却費、償却費、減損	(2,572)	178	(2,394)	(2,500)	156	(2,344)
<b>営業総利益</b>	<b>16,717</b>	<b>(781)</b>	<b>15,936</b>	<b>15,124</b>	<b>(828)</b>	<b>14,296</b>
リスク費用	(2,965)	(39)	(3,004)	(2,925)	(46)	(2,971)
<b>営業利益</b>	<b>13,752</b>	<b>(820)</b>	<b>12,932</b>	<b>12,199</b>	<b>(874)</b>	<b>11,325</b>
持分法適用会社投資損益	699	-	699	494	-	494
非流動資産純益	(250)	(3)	(253)	853	(19)	834
のれん	249	-	249	91	-	91
<b>税引前利益</b>	<b>14,450</b>	<b>(823)</b>	<b>13,627</b>	<b>13,637</b>	<b>(893)</b>	<b>12,744</b>
法人税	(3,853)	137	(3,716)	(3,757)	173	(3,584)
<b>非継続事業の純利益</b>		<b>686</b>	<b>686</b>		<b>720</b>	<b>720</b>
少数株主帰属純利益	(401)	-	(401)	(392)	-	(392)
<b>株主帰属純利益</b>	<b>10,196</b>	<b>-</b>	<b>10,196</b>	<b>9,488</b>	<b>-</b>	<b>9,488</b>



## 連結貸借対照表 – 2022年12月31日現在 – IFRS第5号比較表



BNP PARIBAS

## BNPパリバの連結貸借対照表 – 2022年12月31日現在

IFRS第5号適用 – 比較表

(単位：百万ユーロ)	2022年12月31日現在 IFRS第5号適用前	IFRS第5号の影響	2022年12月31日現在 IFRS第5号適用後	2021年12月31日現在 IFRS第5号適用後
<b>資産</b>				
預金および中央銀行預け金	321,310	(2,750)	318,560	347,883
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産				
トレーディング目的有価証券	166,918	(841)	166,077	191,507
貸出金および売戻契約	191,132	(7)	191,125	249,808
デリバティブ金融商品	328,281	(349)	327,932	240,423
ヘッジ目的デリバティブ	25,406	(5)	25,401	8,680
その他の包括利益を通じた公正価値で測定する金融資産				
負債性金融商品	40,381	(4,503)	35,878	38,906
資本性金融商品	2,188	-	2,188	2,558
償却原価で測定する金融資産				
金融機関貸出金および債権	32,760	(144)	32,616	21,751
顧客貸出金および債権	913,104	(56,084)	857,020	814,000
負債性金融商品	130,793	(16,779)	114,014	108,510
金利リスクヘッジポートフォリオの再測定による調整	(7,477)	-	(7,477)	3,005
保険事業に係る金融商品	247,403	-	247,403	280,766
当期および繰延税金資産	6,301	(408)	5,893	5,866
未収収益およびその他の資産	210,698	(1,606)	209,092	179,123
持分法適用会社投資	6,263	-	6,263	6,528
有形固定資産および投資不動産	38,921	(453)	38,468	35,083
無形固定資産	4,005	(215)	3,790	3,659
のれん	7,989	(2,695)	5,294	5,121
売却目的保有資産	-	86,839	86,839	91,267
<b>資産合計</b>	<b>2,666,376</b>	<b>-</b>	<b>2,666,376</b>	<b>2,634,444</b>
<b>負債</b>				
中央銀行預金	3,054	-	3,054	1,244
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債				
トレーディング目的有価証券	99,155	-	99,155	112,338
預金および買戻契約	234,076	-	234,076	293,456
負債証券	70,460	-	70,460	70,383
デリバティブ金融商品	300,582	(461)	300,121	237,397
ヘッジ目的デリバティブ	40,308	(307)	40,001	10,076
償却原価で測定する金融負債				
金融機関預金	124,978	(260)	124,718	165,699
顧客預金	1,082,256	(74,202)	1,008,054	957,684
負債性金融商品	154,244	(101)	154,143	149,723
劣後債	24,156	-	24,156	24,720
金利リスクヘッジポートフォリオの再測定による調整	(20,201)	-	(20,201)	1,367
当期および繰延税金負債	3,138	(84)	3,054	3,103
未払費用およびその他の負債	186,842	(1,386)	185,456	145,399
保険会社の責任準備金	226,532	-	226,532	254,795
偶発債務等引当金	10,241	(201)	10,040	10,187
売却目的保有資産関連負債	-	77,002	77,002	74,366
<b>負債合計</b>	<b>2,539,821</b>	<b>-</b>	<b>2,539,821</b>	<b>2,511,937</b>
<b>連結資本</b>				
資本金、払込剰余金、および利益剰余金	115,149	-	115,149	108,176
親会社株主帰属当期純利益	10,196	-	10,196	9,488
<b>資本金、払込剰余金、利益剰余金、および親会社株主帰属当期純利益合計</b>	<b>125,345</b>	<b>-</b>	<b>125,345</b>	<b>117,664</b>
資本に直接認識される資産および負債の変動	(3,553)	-	(3,553)	222
親会社株主資本	121,792	-	121,792	117,886
少数株主資本	4,763	-	4,763	4,621
<b>連結資本合計</b>	<b>126,555</b>	<b>-</b>	<b>126,555</b>	<b>122,507</b>
<b>負債および連結資本合計</b>	<b>2,666,376</b>	<b>-</b>	<b>2,666,376</b>	<b>2,634,444</b>



## 連結損益計算書

	4Q22	4Q21	4Q22 / 4Q21	3Q22	4Q22 / 3Q22	2022	2021	2022 / 2021
(単位：百万ユーロ)								
<b>グループ</b>								
営業収益	12,109	11,232	+7.8%	12,311	-1.6%	50,419	46,235	+9.0%
うち受取利息	6,018	5,169	+16.4%	5,721	+5.2%	23,168	21,209	+9.2%
うち手数料	2,746	2,919	-5.9%	2,572	+6.8%	10,570	10,717	-1.4%
営業費用および減価償却費	-8,473	-7,930	+6.8%	-7,857	+7.8%	-33,702	-31,111	+8.3%
営業総利益	3,636	3,302	+10.1%	4,454	-18.4%	16,717	15,124	+10.5%
リスク費用	-773	-510	+51.6%	-947	-18.3%	-2,965	-2,925	+1.4%
営業利益	2,863	2,792	+2.5%	3,507	-18.4%	13,752	12,199	+12.7%
持分法適用会社投資損益	96	138	-30.1%	187	-48.4%	699	494	+41.6%
その他の営業外項目	-22	240	n.s.	40	n.s.	-1	944	n.s.
税引前利益	2,937	3,170	-7.3%	3,734	-21.3%	14,450	13,637	+6.0%
法人税	-685	-759	-9.7%	-881	-22.2%	-3,853	-3,757	+2.6%
少数株主帰属純利益	-102	-105	-2.9%	-92	+10.9%	-401	-392	+2.3%
株主帰属純利益	2,150	2,306	-6.7%	2,761	-22.1%	10,196	9,488	+7.5%
コストインカム率	70.0%	70.6%	-0.6 pt	63.8%	+6.2 pt	66.8%	67.3%	-0.5 pt

BNPパリバの2022年度第4四半期および2022年度通期に関わる財務情報の開示は、本プレスリリースおよびプレゼンテーションに含まれています。

法令上要求される開示情報は全て、登録書類 (universal registration document) を含めて、<http://invest.bnpparibas.com>の「Results (業績)」セクションからオンラインで入手可能であり、フランスの通貨金融法典L.451-1-2条およびフランス金融市場庁 (Autorité des Marchés Financiers) の一般規則第222-1条以降の規定に従い、BNPパリバが公表しています。



## 2022年度第4四半期 - コア事業別業績

		コマーシャル& 個人向け バンキングサー ビス部門 (プライ ベート・バンキン グの2/3)	インベストメン ト&プロテクシ ョンサービス 部門	ホールセール バンキング 部門	事業部門合計	コーポレート ・センター	グループ 合計
(単位: 百万ユーロ)							
営業収益		6,835	1,665	3,858	12,358	-249	12,109
	対前年同期比	+7.9%	+1.6%	+18.2%	+10.0%	n.s.	+7.8%
	対前四半期比	-1.3%	+2.0%	+1.5%	+0.0%	n.s.	-1.6%
営業費用および減価償却費		-4,383	-1,157	-2,743	-8,283	-190	-8,473
	対前年同期比	+5.5%	-0.6%	+16.8%	+8.1%	-28.3%	+6.8%
	対前四半期比	+3.7%	+6.5%	+17.1%	+8.2%	-4.5%	+7.8%
営業総利益		2,452	508	1,115	4,075	-438	3,636
	対前年同期比	+12.4%	+6.8%	+21.8%	+14.1%	+62.7%	+10.1%
	対前四半期比	-9.1%	-6.8%	-23.4%	-13.3%	+79.1%	-18.4%
リスク費用		-690	14	-157	-833	59	-773
	対前年同期比	+15.4%	+99.0%	n.s.	+63.2%	n.s.	+51.6%
	対前四半期比	-5.6%	n.s.	+73.8%	+1.6%	n.s.	-18.3%
営業利益		1,762	522	958	3,242	-379	2,863
	対前年同期比	+11.3%	+8.2%	-3.8%	+5.9%	+40.9%	+2.5%
	対前四半期比	-10.4%	-4.6%	-29.9%	-16.4%	+1.8%	-18.4%
持分法適用会社投資損益		69	63	2	134	-38	96
その他の営業外項目		-62	-3	-8	-73	51	-22
税引前利益		1,770	582	952	3,303	-366	2,937
	対前年同期比	+7.3%	+8.3%	-5.0%	+3.6%	n.s.	-7.3%
	対前四半期比	-15.4%	-7.3%	-30.4%	-19.2%	+3.5%	-21.3%
(単位: 百万ユーロ)							
営業収益		6,835	1,665	3,858	12,358	-249	12,109
	前年同期	6,334	1,639	3,264	11,237	-5	11,232
	前四半期	6,926	1,632	3,799	12,357	-46	12,311
営業費用および減価償却費		-4,383	-1,157	-2,743	-8,283	-190	-8,473
	前年同期	-4,153	-1,164	-2,348	-7,666	-264	-7,930
	前四半期	-4,229	-1,087	-2,343	-7,658	-199	-7,857
営業総利益		2,452	508	1,115	4,075	-438	3,636
	前年同期	2,181	475	915	3,571	-269	3,302
	前四半期	2,697	545	1,456	4,698	-245	4,454
リスク費用		-690	14	-157	-833	59	-773
	前年同期	-597	7	80	-510	0	-510
	前四半期	-731	2	-90	-819	-128	-947
営業利益		1,762	522	958	3,242	-379	2,863
	前年同期	1,583	482	996	3,061	-269	2,792
	前四半期	1,967	547	1,366	3,879	-372	3,507
持分法適用会社投資損益		69	63	2	134	-38	96
	前年同期	70	57	6	134	4	138
	前四半期	120	42	5	168	19	187
その他の営業外項目		-62	-3	-8	-73	51	-22
	前年同期	-5	-3	1	-7	247	240
	前四半期	5	39	-3	41	-1	40
税引前利益		1,770	582	952	3,303	-366	2,937
	前年同期	1,648	537	1,003	3,188	-18	3,170
	前四半期	2,092	627	1,369	4,088	-354	3,734
法人税							-685
少数株主帰属純利益							-102
株主帰属純利益							2,150



## 2022年度通期 - コア事業別業績

		コマーシャル& 個人向け バンキングサー ビス部門 (プライ ベート・バンキ ング の2/3)	インベストメン ト&プロテクシ ョンサービス 部門	ホールセール バンキング 部門	事業部門合計	コーポレート ・センター	グループ 合計
<i>(単位: 百万ユーロ)</i>							
<b>営業収益</b>		<b>27,563</b>	<b>6,670</b>	<b>16,465</b>	<b>50,698</b>	<b>-279</b>	<b>50,419</b>
	対前年比	+9.3%	+3.0%	+15.7%	+10.4%	n.s.	+9.0%
営業費用および減価償却費		-17,518	-4,363	-10,753	-32,635	-1,067	-33,702
	対前年比	+6.0%	+3.5%	+13.6%	+8.0%	+18.2%	+8.3%
<b>営業総利益</b>		<b>10,044</b>	<b>2,307</b>	<b>5,712</b>	<b>18,063</b>	<b>-1,346</b>	<b>16,717</b>
	対前年比	+15.5%	+2.2%	+19.8%	+14.9%	n.s.	+10.5%
リスク費用		-2,458	3	-325	-2,780	-185	-2,965
	対前年比	-5.0%	n.s.	+88.2%	+0.5%	+16.4%	+1.4%
<b>営業利益</b>		<b>7,586</b>	<b>2,309</b>	<b>5,387</b>	<b>15,283</b>	<b>-1,531</b>	<b>13,752</b>
	対前年比	+24.2%	+2.6%	+17.2%	+18.0%	n.s.	+12.7%
持分法適用会社投資損益		433	223	20	676	23	699
その他の営業外項目		-19	88	-10	58	-59	-1
<b>税引前利益</b>		<b>8,000</b>	<b>2,620</b>	<b>5,398</b>	<b>16,018</b>	<b>-1,567</b>	<b>14,450</b>
	対前年比	+24.1%	+4.8%	+16.0%	+17.8%	n.s.	+6.0%
法人税							-3,853
少数株主帰属純利益							-401
<b>株主帰属純利益</b>							<b>10,196</b>



## 連結四半期業績の推移

(単位：百万ユーロ)	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
<b>グループ</b>								
<b>営業収益</b>	<b>12,109</b>	<b>12,311</b>	<b>12,781</b>	<b>13,218</b>	<b>11,232</b>	<b>11,398</b>	<b>11,776</b>	<b>11,829</b>
うち受取利息	6,018	5,721	5,695	5,734	5,169	5,218	5,370	5,452
うち手数料	2,746	2,572	2,615	2,637	2,919	2,603	2,640	2,555
営業費用および減価償却費	-8,473	-7,857	-7,719	-9,653	-7,930	-7,412	-7,172	-8,597
<b>営業総利益</b>	<b>3,636</b>	<b>4,454</b>	<b>5,062</b>	<b>3,565</b>	<b>3,302</b>	<b>3,986</b>	<b>4,604</b>	<b>3,232</b>
リスク費用	-773	-947	-789	-456	-510	-706	-813	-896
<b>営業利益</b>	<b>2,863</b>	<b>3,507</b>	<b>4,273</b>	<b>3,109</b>	<b>2,792</b>	<b>3,280</b>	<b>3,791</b>	<b>2,336</b>
持分法適用会社投資損益	96	187	251	165	138	131	101	124
その他の営業外項目	-22	40	-22	3	240	39	302	363
<b>税引前利益</b>	<b>2,937</b>	<b>3,734</b>	<b>4,502</b>	<b>3,277</b>	<b>3,170</b>	<b>3,450</b>	<b>4,194</b>	<b>2,823</b>
法人税	-685	-881	-1,240	-1,047	-759	-836	-1,193	-969
少数株主帰属純利益	-102	-92	-85	-122	-105	-111	-90	-86
<b>株主帰属純利益</b>	<b>2,150</b>	<b>2,761</b>	<b>3,177</b>	<b>2,108</b>	<b>2,306</b>	<b>2,503</b>	<b>2,911</b>	<b>1,768</b>
<b>コスト/インカム率</b>	<b>70.0%</b>	<b>63.8%</b>	<b>60.4%</b>	<b>73.0%</b>	<b>70.6%</b>	<b>65.0%</b>	<b>60.9%</b>	<b>72.7%</b>
融資平均残高 (十億ユーロ)	881.6	875.3	851.8	828.3	806.4	793.5	787.9	781.9
預金平均残高 (十億ユーロ)	865.7	865.2	842.9	824.7	809.3	796.2	785.4	770.2
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	988.4	963.7	942.7	903.8	883.0	873.9	866.8	846.9
リスク費用 (年率、bp)	31	39	33	20	23	32	38	42



(単位：百万ユーロ)	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
<b>ホールセールバンキング (CIB) 部門</b>								
営業収益	3,858	3,799	4,106	4,702	3,264	3,588	3,714	3,670
営業費用および減価償却費	-2,743	-2,343	-2,314	-3,353	-2,348	-2,243	-2,042	-2,834
営業総利益	1,115	1,456	1,792	1,349	915	1,346	1,672	836
リスク費用	-157	-90	-76	-2	80	-24	-57	-172
営業利益	958	1,366	1,716	1,347	996	1,322	1,615	664
持分法適用会社投資損益	2	5	9	4	6	9	10	9
その他の営業外項目	-8	-3	-1	1	1	0	12	11
税引前利益	952	1,369	1,724	1,353	1,003	1,331	1,637	683
コストインカム率	71.1%	61.7%	56.4%	71.3%	72.0%	62.5%	55.0%	77.2%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	29.9	29.6	28.9	27.4	26.2	25.8	25.3	25.0
リスクアセット (十億ユーロ)	244.0	266.5	260.7	256.2	234.8	236.7	231.8	224.9
<b>(単位：百万ユーロ)</b>								
<b>グローバル・バンキング事業</b>								
営業収益	1,522	1,181	1,248	1,268	1,324	1,282	1,238	1,243
営業費用および減価償却費	-743	-663	-657	-815	-655	-640	-589	-768
営業総利益	779	518	591	453	669	642	649	475
リスク費用	-155	-116	-85	20	72	-24	-64	-185
営業利益	624	402	505	473	741	618	585	290
持分法適用会社投資損益	1	1	1	1	1	1	9	6
その他の営業外項目	0	0	0	0	-1	-3	0	0
税引前利益	626	403	506	474	740	616	594	296
コストインカム率	48.8%	56.1%	52.7%	64.3%	49.5%	49.9%	47.6%	61.8%
融資平均残高 (十億ユーロ)	188	187	176	168	161	156	154	149
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	189	179	170	163	156	153	154	145
預金平均残高 (十億ユーロ)	219	209	198	190	185	184	185	184
リスク費用 (年率、bp)	33	26	20	-5	-18	6	17	51
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	16.5	16.4	16.0	15.2	14.3	14.0	13.5	13.6
リスクアセット (十億ユーロ)	146.3	155.5	149.0	145.3	133.8	137.4	134.5	124.0
<b>(単位：百万ユーロ)</b>								
<b>グローバル・マーケット事業</b>								
営業収益	1,657	1,986	2,196	2,821	1,338	1,731	1,904	1,846
うちFICC	1,094	1,124	1,317	1,700	755	896	1,148	1,149
うち株式・プライムサービス	563	863	878	1,121	583	835	757	697
営業費用および減価償却費	-1,480	-1,167	-1,158	-2,000	-1,224	-1,137	-999	-1,564
営業総利益	177	819	1,038	821	115	594	905	282
リスク費用	-3	28	8	-21	10	-2	5	14
営業利益	174	847	1,046	799	124	592	910	296
持分法適用会社投資損益	1	3	8	2	5	2	5	2
その他の営業外項目	-9	-1	-1	1	-5	4	2	3
税引前利益	166	848	1,053	802	125	598	917	302
コストインカム率	89.3%	58.8%	52.7%	70.9%	91.4%	65.7%	52.5%	84.7%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	12.0	11.8	11.5	10.9	10.7	10.7	10.7	10.4
リスクアセット (十億ユーロ)	87.7	99.4	98.5	96.3	89.1	87.4	85.6	90.2
<b>(単位：百万ユーロ)</b>								
<b>証券管理事業</b>								
営業収益	679	632	663	613	602	575	571	581
営業費用および減価償却費	-520	-513	-499	-538	-469	-465	-454	-503
営業総利益	159	119	164	75	132	110	117	78
リスク費用	1	-2	0	0	-2	2	2	-1
営業利益	160	118	164	75	130	112	120	77
持分法適用会社投資損益	-1	1	0	1	0	6	-4	1
その他の営業外項目	1	-1	0	0	7	-1	10	7
税引前利益	161	118	164	77	138	117	126	85
コストインカム率	76.6%	81.1%	75.3%	87.7%	78.0%	80.9%	79.4%	86.5%
預かり資産 (十億ユーロ)	11,133	10,798	11,214	11,907	12,635	12,273	12,067	11,638
管理資産 (十億ユーロ)	2,303	2,262	2,256	2,426	2,521	2,451	2,388	2,295
取引件数 (百万件)	36.9	35.5	38.3	38.6	35.5	32.8	33.3	35.7
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	1.4	1.4	1.4	1.3	1.2	1.2	1.1	1.1
リスクアセット (十億ユーロ)	9.9	11.6	13.2	14.6	11.8	11.8	11.7	10.6



(単位: 百万ユーロ)	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
<b>コーポレート&amp;個人向けバンキングサービス (CPBS) 部門 (フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、ポーランド、トルコ、米国、ドイツのプライベートバンキングの100%を含む) <sup>1</sup></b>								
営業収益	7,028	7,110	7,184	6,979	6,506	6,485	6,467	6,430
営業費用および減価償却費	-4,487	-4,330	-4,263	-4,848	-4,252	-4,046	-4,001	-4,609
営業総利益	2,542	2,780	2,921	2,131	2,253	2,439	2,466	1,821
リスク費用	-676	-730	-645	-401	-597	-639	-694	-668
営業利益	1,866	2,050	2,275	1,730	1,657	1,800	1,771	1,154
持分法適用会社投資損益	69	120	157	86	70	92	73	51
その他の営業外項目	-62	5	32	6	-5	104	-10	-36
税引前利益	1,873	2,175	2,464	1,822	1,722	1,996	1,834	1,169
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-103	-83	-86	-61	-74	-70	-71	-60
コーポレート&個人向けバンキングサービス部門税引前利益	1,770	2,092	2,378	1,761	1,648	1,926	1,763	1,110
<b>コスト/インカム率</b>								
融資平均残高 (十億ユーロ)	686	680	667	651	636	628	624	622
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	685	677	669	643	633	630	624	625
預金平均残高 (十億ユーロ)	647	666	645	634	624	612	600	586
リスク費用 (年率、bp)	39	43	39	25	38	41	44	43
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、ポーランド、トルコ、米国、ドイツのプライベートバンキングの2/3を含む)	47.4	47.0	46.3	44.9	43.3	43.3	43.5	43.8
リスクアセット (十億ユーロ)	427.4	432.7	426.5	422.3	402.8	395.6	393.7	395.3
<b>(単位: 百万ユーロ)</b>								
<b>コーポレート&amp;個人向けバンキングサービス部門 (フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、ポーランド、トルコ、米国、ドイツのプライベートバンキングの2/3を含む)</b>								
営業収益	6,835	6,926	7,001	6,800	6,334	6,321	6,298	6,263
営業費用および減価償却費	-4,383	-4,229	-4,168	-4,738	-4,153	-3,954	-3,912	-4,504
営業総利益	2,452	2,697	2,833	2,062	2,181	2,367	2,386	1,759
リスク費用	-690	-731	-644	-394	-597	-638	-686	-665
営業利益	1,762	1,967	2,189	1,669	1,583	1,729	1,700	1,094
持分法適用会社投資損益	69	120	157	86	70	92	73	51
その他の営業外項目	-62	5	32	6	-5	104	-10	-36
税引前利益	1,770	2,092	2,378	1,761	1,648	1,926	1,763	1,110
<b>コスト/インカム率</b>								
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	47.4	47.0	46.3	44.9	43.3	43.3	43.5	43.8
リスクアセット (十億ユーロ)	423.1	428.4	422.2	418.1	398.9	391.8	389.9	391.7
<b>(単位: 百万ユーロ)</b>								
<b>コーポレート&amp;個人向けバンキング事業 (フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、ポーランド、トルコ、米国のプライベートバンキングの100%を含む) <sup>1</sup></b>								
営業収益	4,660	4,694	4,702	4,575	4,318	4,379	4,297	4,257
うち受取利息純額	3,088	3,115	3,071	2,984	2,745	2,873	2,763	2,798
うち手数料	1,571	1,579	1,630	1,590	1,574	1,507	1,534	1,459
営業費用および減価償却費	-3,243	-3,151	-3,065	-3,575	-3,071	-2,959	-2,861	-3,402
営業総利益	1,417	1,542	1,637	1,000	1,247	1,420	1,437	855
リスク費用	-191	-334	-265	-43	-219	-280	-316	-313
営業利益	1,226	1,209	1,372	957	1,028	1,140	1,121	542
持分法適用会社投資損益	75	100	133	70	48	76	78	37
その他の営業外項目	-54	2	3	6	-12	68	-1	-36
税引前利益	1,246	1,310	1,508	1,033	1,064	1,283	1,198	542
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-103	-83	-86	-61	-73	-70	-71	-59
コーポレート&個人向けバンキング事業税引前利益	1,143	1,227	1,422	972	991	1,214	1,127	483
<b>コスト/インカム率</b>								
融資平均残高 (十億ユーロ)	537	536	523	510	496	491	486	486
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	562	554	538	525	517	512	508	508
預金平均残高 (十億ユーロ)	616	625	614	604	594	584	573	560
リスク費用 (年率、bp)	14	24	20	3	17	22	25	25
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、ポーランド、トルコ、米国のプライベートバンキングの2/3を含む)	35.3	35.0	34.6	33.5	32.0	31.9	32.0	32.4
リスクアセット (十億ユーロ)	315.8	323.8	317.9	315.5	300.5	294.9	291.9	291.3
<b>(単位: 百万ユーロ)</b>								
<b>コーポレート&amp;個人向けバンキング事業 (フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、ポーランド、トルコ、米国のプライベートバンキングの2/3を含む)</b>								
営業収益	4,469	4,512	4,521	4,398	4,149	4,217	4,131	4,092
営業費用および減価償却費	-3,141	-3,052	-2,972	-3,466	-2,974	-2,868	-2,773	-3,239
営業総利益	1,328	1,460	1,550	932	1,174	1,349	1,358	793
リスク費用	-205	-334	-264	-36	-219	-279	-308	-310
営業利益	1,123	1,126	1,286	896	955	1,070	1,050	483
持分法適用会社投資損益	75	100	133	70	48	76	78	37
その他の営業外項目	-54	2	3	6	-12	68	-1	-37
税引前利益	1,143	1,227	1,422	972	991	1,214	1,127	483
<b>コスト/インカム率</b>								
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	35.3	35.0	34.6	33.5	32.0	31.9	32.0	32.4
リスクアセット (十億ユーロ)	311.5	319.4	313.6	311.3	296.6	291.1	288.2	287.7

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位：百万ユーロ)

	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
<b>ユーロ圏のコマーシャル&amp;個人向けバンキング事業（フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルクのプライベートバンキングの100%を含む）<sup>1</sup></b>								
<b>営業収益</b>	3,403	3,354	3,479	3,317	3,243	3,280	3,246	3,116
うち受取利息純額	2,050	2,011	2,074	1,947	1,922	1,979	1,921	1,861
うち手数料	1,353	1,343	1,405	1,370	1,321	1,302	1,325	1,255
営業費用および減価償却費	-2,301	-2,193	-2,152	-2,678	-2,220	-2,151	-2,061	-2,557
<b>営業総利益</b>	1,102	1,161	1,327	640	1,023	1,129	1,185	559
リスク費用	-105	-230	-187	-198	-211	-288	-249	-281
<b>営業利益</b>	997	931	1,140	442	812	841	936	277
持分法適用会社投資損益	0	0	1	0	1	5	1	-3
その他の営業外項目	-1	5	31	6	-15	60	3	3
<b>税引前利益</b>	996	936	1,171	448	799	906	940	278
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-80	-61	-72	-50	-64	-63	-64	-50
<b>ユーロ圏のコマーシャル&amp;個人向けバンキング事業税引前利益</b>	917	875	1,099	397	735	843	876	228

	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
<b>コスト/インカム率</b>	67.6%	65.4%	61.9%	80.7%	68.5%	65.6%	63.5%	82.1%
融資平均残高（十億ユーロ）	444	441	433	425	412	407	404	402
融資期初残高（十億ユーロ、リスク費用算定に使用）	463	460	449	437	430	427	421	421
預金平均残高（十億ユーロ）	502	508	501	492	481	473	465	456
リスク費用（年率、bp）	9	20	17	18	20	27	24	27
配賦資本（十億ユーロ、年初末；フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルクのプライベートバンキングの2/3を含む）	24.1	24.1	24.0	23.2	22.0	22.0	22.0	22.2
リスクアセット（十億ユーロ）	213.0	215.8	214.0	218.8	207.2	201.7	201.3	201.5

(単位：百万ユーロ)

	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
<b>ユーロ圏のコマーシャル&amp;個人向けバンキング事業（フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルクのプライベートバンキングの2/3を含む）</b>								
<b>営業収益</b>	3,249	3,208	3,326	3,164	3,096	3,137	3,099	2,971
営業費用および減価償却費	-2,213	-2,108	-2,073	-2,583	-2,136	-2,073	-1,986	-2,465
<b>営業総利益</b>	1,036	1,100	1,254	582	960	1,065	1,113	506
リスク費用	-119	-230	-186	-191	-212	-287	-241	-278
<b>営業利益</b>	918	870	1,068	391	748	778	872	227
持分法適用会社投資損益	0	0	1	0	1	5	1	-3
その他の営業外項目	-1	5	31	6	-15	60	3	3
<b>税引前利益</b>	917	875	1,099	397	735	843	876	228

	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
<b>コスト/インカム率</b>	68.1%	65.7%	62.3%	81.6%	69.0%	66.1%	64.1%	83.0%
配賦資本（十億ユーロ、年初末）	24.1	24.1	24.0	23.2	22.0	22.0	22.0	22.2
リスクアセット（十億ユーロ）	208.8	211.6	209.9	214.7	203.4	198.0	197.6	197.9

(単位：百万ユーロ)

	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
<b>フランスのコマーシャル&amp;個人向けバンキング事業（フランスのプライベートバンキングの100%を含む）<sup>1</sup></b>								
<b>営業収益</b>	1,670	1,669	1,728	1,613	1,608	1,574	1,607	1,481
うち受取利息純額	902	899	919	847	884	869	860	797
うち手数料	768	769	809	766	724	714	747	684
営業費用および減価償却費	-1,210	-1,133	-1,117	-1,239	-1,178	-1,129	-1,075	-1,175
<b>営業総利益</b>	460	536	612	374	430	444	532	306
リスク費用	21	-102	-64	-93	-99	-115	-101	-125
<b>営業利益</b>	481	434	548	281	331	329	431	181
持分法適用会社投資損益	0	0	1	0	0	0	-2	0
その他の営業外項目	-1	1	25	0	-15	54	0	0
<b>税引前利益</b>	481	434	574	282	316	383	429	181
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-48	-36	-42	-31	-35	-34	-30	-28
<b>フランスのコマーシャル&amp;個人向けバンキング事業税引前利益</b>	433	398	531	250	280	349	399	153
<b>コスト/インカム率</b>	72.4%	67.9%	64.6%	76.8%	73.3%	71.8%	66.9%	79.3%
融資平均残高（十億ユーロ）	213	212	208	203	201	200	199	198
融資期初残高（十億ユーロ、リスク費用算定に使用）	228	227	221	218	215	216	213	213
預金平均残高（十億ユーロ）	247	249	244	240	241	237	231	226
リスク費用（年率、bp）	-4	18	12	17	19	21	19	24
配賦資本（十億ユーロ、年初末；フランスのプライベートバンキングの2/3を含む）	11.3	11.1	11.0	10.6	10.6	10.7	10.8	10.8
リスクアセット（十億ユーロ）	103.4	105.2	102.8	103.2	98.0	96.4	97.1	99.6

## 1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む

PEL/CELに係る引当金に関する留意事項：当該引当金は、フランスのコマーシャル&個人向けバンキング（CPBF）事業収益において計上されているが、住宅財形貯蓄制度（Plans Epargne Logement: PEL）および住宅財形貯蓄口座（Comptes Epargne Logement: CEL）から全存続期間にわたり生じるリスクを考慮している。

(単位：百万ユーロ)

	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
<b>PEL/CELの影響（フランスのプライベートバンキングの100%）</b>	8	13	14	11	6	3	19	1

(単位：百万ユーロ)

	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
<b>フランスのコマーシャル&amp;個人向けバンキング事業（フランスのプライベートバンキングの2/3を含む）</b>								
<b>営業収益</b>	1,592	1,592	1,647	1,531	1,530	1,499	1,531	1,406
営業費用および減価償却費	-1,166	-1,092	-1,078	-1,195	-1,136	-1,091	-1,036	-1,132
<b>営業総利益</b>	426	500	569	336	395	408	495	274
リスク費用	8	-103	-64	-86	-100	-113	-94	-121
<b>営業利益</b>	434	397	505	250	295	295	401	153
営業外項目	-1	1	26	0	-15	54	-2	1
<b>税引前利益</b>	433	398	531	250	280	349	399	153
<b>コスト/インカム率</b>	73.2%	68.6%	65.4%	78.0%	74.2%	72.8%	67.7%	80.5%
配賦資本（十億ユーロ、年初末）	11.3	11.1	11.0	10.6	10.6	10.7	10.8	10.8
リスクアセット（十億ユーロ）	100.5	102.3	100.0	100.4	95.5	93.9	94.6	97.2



(単位: 百万ユーロ)	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
<b>BNPベンカ・コメルシアール (イタリアのプライベートバンキングの100%を含む) <sup>1</sup></b>								
営業収益	656	652	671	654	668	667	669	676
うち受取利息純額	369	382	387	380	370	385	387	398
うち手数料	286	271	284	274	298	282	283	278
営業費用および減価償却費	-426	-440	-416	-454	-438	-449	-435	-458
営業総利益	230	213	255	201	230	218	235	217
リスク費用	-114	-114	-110	-128	-143	-130	-105	-110
営業利益	116	99	146	73	87	88	130	107
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	0	0	2	0	0	0	0	0
税引前利益	116	99	148	73	87	88	130	107
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-5	-4	-8	-8	-9	-8	-10	-9
<b>BNPベンカ・コメルシアールの税引前利益</b>	<b>111</b>	<b>95</b>	<b>139</b>	<b>65</b>	<b>78</b>	<b>80</b>	<b>120</b>	<b>98</b>
コスト/インカム率	64.9%	67.4%	62.0%	69.3%	65.6%	67.3%	64.9%	67.9%
融資平均残高 (十億ユーロ)	79	79	78	79	78	77	76	77
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	80	80	79	82	80	78	77	79
預金平均残高 (十億ユーロ)	64	65	65	63	62	59	59	58
リスク費用 (年率、bp)	57	57	55	63	71	67	54	56
配賦資本 (十億ユーロ、年初来; イタリアのプライベートバンキングの2/3を含む)	6.0	6.0	6.0	5.9	5.3	5.3	5.3	5.5
リスクアセット (十億ユーロ)	47.6	48.7	49.3	49.8	49.1	49.2	48.2	47.7
(単位: 百万ユーロ)	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
<b>BNPベンカ・コメルシアール (イタリアのプライベートバンキングの2/3を含む)</b>								
営業収益	635	631	649	633	645	645	647	654
営業費用および減価償却費	-411	-423	-403	-440	-424	-435	-422	-445
営業総利益	224	208	246	193	222	210	225	208
リスク費用	-114	-114	-109	-128	-143	-130	-104	-110
営業利益	110	95	138	65	78	80	120	98
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	0	0	2	0	0	0	0	0
税引前利益	111	95	139	65	78	80	120	98
コスト/インカム率	64.7%	67.0%	62.0%	69.5%	65.7%	67.4%	65.2%	68.1%
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	6.0	6.0	6.0	5.9	5.3	5.3	5.3	5.5
リスクアセット (十億ユーロ)	47.1	48.2	48.8	49.3	48.7	48.8	47.8	47.3
(単位: 百万ユーロ)	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
<b>ベルギーのコマーシャル&amp;個人向けバンキング事業 (ベルギーのプライベートバンキングの100%を含む) <sup>1</sup></b>								
営業収益	947	917	965	935	854	933	864	858
うち受取利息純額	673	636	677	632	581	649	589	585
うち手数料	274	281	288	303	273	284	275	274
営業費用および減価償却費	-598	-558	-554	-905	-540	-511	-488	-845
営業総利益	348	359	412	30	314	422	376	14
リスク費用	-20	-17	-16	17	28	-36	-45	-47
営業利益	328	342	396	47	342	386	331	-33
持分法適用会社投資損益	0	0	1	0	2	5	2	-3
その他の営業外項目	-1	3	3	4	1	6	4	3
税引前利益	327	345	399	52	344	397	337	-33
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-25	-19	-20	-10	-18	-20	-22	-12
<b>ベルギーのコマーシャル&amp;個人向けバンキング事業税引前利益</b>	<b>303</b>	<b>326</b>	<b>379</b>	<b>42</b>	<b>326</b>	<b>377</b>	<b>315</b>	<b>-45</b>
コスト/インカム率	63.2%	60.9%	57.3%	96.8%	63.3%	54.8%	56.5%	98.4%
融資平均残高 (十億ユーロ)	138	137	134	131	120	119	116	115
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	141	140	136	125	122	120	118	118
預金平均残高 (十億ユーロ)	161	162	162	161	149	149	149	146
リスク費用 (年率、bp)	6	5	5	-6	-9	12	15	16
配賦資本 (十億ユーロ、年初来; ベルギーのプライベートバンキングの2/3を含む)	6.1	6.1	6.2	5.9	5.3	5.2	5.2	5.2
リスクアセット (十億ユーロ)	54.5	54.2	54.2	58.4	53.1	49.4	49.1	47.5
(単位: 百万ユーロ)	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
<b>ベルギーのコマーシャル&amp;個人向けバンキング事業 (ベルギーのプライベートバンキングの2/3を含む)</b>								
営業収益	896	871	920	890	810	890	819	813
営業費用および減価償却費	-571	-532	-529	-870	-514	-486	-466	-811
営業総利益	324	339	392	20	296	403	353	3
リスク費用	-21	-17	-16	18	28	-37	-44	-48
営業利益	303	323	376	38	324	367	309	-45
持分法適用会社投資損益	0	0	1	0	2	5	2	-3
その他の営業外項目	-1	3	3	4	1	6	4	3
税引前利益	303	326	379	42	326	377	315	-45
コスト/インカム率	63.8%	61.1%	57.4%	97.8%	63.4%	54.7%	56.9%	99.7%
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	6.1	6.1	6.2	5.9	5.3	5.2	5.2	5.2
リスクアセット (十億ユーロ)	53.9	53.4	53.5	57.6	52.4	48.7	48.4	46.8

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
<b>ルクセンブルクの商業&amp;個人向けバンキング事業 (プライベートバンキングの100%を含む) <sup>1</sup></b>								
<b>営業収益</b>	130	116	114	115	113	107	106	101
うち受取利息純額	105	94	90	88	87	86	85	81
うち手数料	25	22	24	27	26	21	21	20
営業費用および減価償却費	-67	-62	-66	-80	-64	-62	-64	-79
<b>営業総利益</b>	63	54	48	35	49	45	42	22
リスク費用	9	3	3	5	3	-7	1	1
<b>営業利益</b>	72	56	51	40	52	38	43	23
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	0	1	0	2	0	0	0	0
<b>税引前利益</b>	72	58	51	42	52	38	43	23
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-2	-1	-2	-2	-2	-2	-1	-1
<b>ルクセンブルクの商業&amp;個人向けバンキング事業税引前利益</b>	70	56	49	40	50	37	42	21

(単位: 百万ユーロ)	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
<b>コスト/インカム率</b>	51.3%	53.8%	57.8%	69.8%	56.3%	58.1%	60.2%	78.2%
融資平均残高 (十億ユーロ)	13	13	13	13	12	12	12	12
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	13	13	13	13	12	12	12	12
預金平均残高 (十億ユーロ)	30	31	30	29	29	28	27	27
リスク費用 (年率、bp)	-25	-8	-9	-17	-10	23	-3	-2
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; ルクセンブルクのプライベートバンキングの2/3を含む)	0.8	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7
リスクアセット (十億ユーロ)	7.4	7.8	7.6	7.5	6.8	6.6	6.8	6.7

(単位: 百万ユーロ)	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
<b>ルクセンブルクの商業&amp;個人向けバンキング事業 (プライベートバンキングの2/3を含む)</b>								
<b>営業収益</b>	127	113	110	111	110	104	103	97
営業費用および減価償却費	-65	-61	-64	-78	-62	-61	-62	-77
<b>営業総利益</b>	62	52	46	33	48	43	41	21
リスク費用	8	3	3	5	3	-7	1	1
<b>営業利益</b>	70	55	49	38	51	36	42	21
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	0	1	0	2	0	0	0	0
<b>税引前利益</b>	70	56	49	40	50	37	42	21
<b>コスト/インカム率</b>	51.3%	53.7%	57.9%	70.4%	56.5%	58.2%	60.4%	78.9%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	0.8	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7
リスクアセット (十億ユーロ)	7.3	7.7	7.5	7.4	6.8	6.6	6.8	6.7

(単位: 百万ユーロ)	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
<b>他の国々の商業&amp;個人向けバンキング事業 (ポーランド、トルコ、米国のプライベートバンキングの100%を含む) <sup>1</sup></b>								
<b>営業収益</b>	1,257	1,340	1,223	1,258	1,075	1,099	1,052	1,141
うち受取利息純額	1,038	1,104	997	1,037	822	894	842	938
うち手数料	218	236	225	221	253	205	209	204
営業費用および減価償却費	-942	-958	-913	-897	-851	-808	-799	-845
<b>営業総利益</b>	315	381	310	361	224	291	252	297
リスク費用	-86	-104	-78	154	-8	8	-67	-32
<b>営業利益</b>	229	277	232	515	216	299	185	265
持分法適用会社投資損益	74	100	132	70	46	71	77	40
その他の営業外項目	-53	-3	-27	0	2	8	-4	-40
<b>税引前利益</b>	250	374	337	585	265	378	258	265
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-23	-21	-14	-10	-9	-7	-7	-9
<b>他の国々の商業&amp;個人向けバンキング事業税引前利益</b>	227	353	323	575	256	371	251	255

(単位: 百万ユーロ)	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
<b>コスト/インカム率</b>	74.9%	71.5%	74.6%	71.3%	79.2%	73.5%	76.0%	74.0%
融資平均残高 (十億ユーロ)	93	94	90	85	84	83	83	84
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	99	94	89	87	87	86	87	87
預金平均残高 (十億ユーロ)	114	118	113	112	113	111	108	105
リスク費用 (年率、bp)	35	44	35	-71	4	-4	31	15
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; ポーランド、トルコ、米国のプライベートバンキングの2/3を含む)	11.1	11.0	10.6	10.3	10.0	10.0	10.0	10.2
リスクアセット (十億ユーロ、年初末)	102.8	107.9	103.8	96.8	93.4	93.2	90.7	89.8

(単位: 百万ユーロ)	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
<b>他の国々の商業&amp;個人向けバンキング事業 (ポーランド、トルコ、米国のプライベートバンキングの2/3を含む)</b>								
<b>営業収益</b>	1,220	1,304	1,195	1,234	1,053	1,080	1,032	1,122
営業費用および減価償却費	-928	-944	-899	-883	-839	-795	-787	-834
<b>営業総利益</b>	292	360	296	351	214	284	245	288
リスク費用	-86	-104	-78	154	-8	8	-67	-32
<b>営業利益</b>	206	256	218	505	207	292	178	255
持分法適用会社投資損益	74	100	132	70	46	71	77	40
その他の営業外項目	-53	-3	-27	0	2	8	-4	-40
<b>税引前利益</b>	227	353	323	575	256	371	251	255
<b>コスト/インカム率</b>	76.1%	72.4%	75.2%	71.6%	79.6%	73.7%	76.3%	74.3%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	11.1	11.0	10.6	10.3	10.0	10.0	10.0	10.2
リスクアセット (十億ユーロ)	102.7	107.8	103.7	96.7	93.2	93.1	90.6	89.8

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
<b>欧州・地中海沿岸諸国事業 (ポーランドとトルコのプライベートバンキングの100%を含む) <sup>1</sup></b>								
<b>営業収益</b>	534	607	566	639	449	511	464	516
うち受取利息純額	433	488	455	518	320	401	349	399
うち手数料	101	118	111	121	129	109	115	117
営業費用および減価償却費	-417	-393	-418	-422	-395	-383	-394	-435
<b>営業総利益</b>	118	214	148	217	54	128	71	82
リスク費用	-10	-55	-48	-39	-32	-15	-58	-39
<b>営業利益</b>	108	159	100	178	22	113	12	43
持分法適用会社投資損益	74	100	132	70	46	71	77	40
その他の営業外項目	-53	-5	-29	0	-3	-1	-7	-41
<b>税引前利益</b>	129	253	203	248	65	183	82	41
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-6	-3	-3	-3	-2	-1	-2	-3
<b>欧州・地中海沿岸諸国事業税引前利益</b>	122	250	200	245	63	182	80	39
<b>コスト/インカム率</b>	78.0%	64.7%	73.8%	66.1%	87.9%	74.9%	84.8%	84.2%
融資平均残高 (十億ユーロ)	35	35	35	34	34	35	34	34
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	38	38	37	37	38	37	36	37
預金平均残高 (十億ユーロ)	43	43	41	40	41	41	40	39
リスク費用 (年率、bp)	11	58	53	43	34	17	65	42
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; ポーランドとトルコのプライベートバンキングの2/3を含む)	5.5	5.4	5.2	5.1	5.0	5.0	5.0	5.1
リスクアセット (十億ユーロ)	50.5	52.0	51.8	48.4	46.5	47.6	45.9	44.5
(単位: 百万ユーロ)	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
<b>欧州・地中海沿岸諸国事業 (ポーランドとトルコのプライベートバンキングの2/3を含む)</b>								
<b>営業収益</b>	526	601	560	634	445	508	461	512
営業費用および減価償却費	-415	-391	-416	-420	-393	-381	-392	-433
<b>営業総利益</b>	111	210	145	214	52	127	69	80
リスク費用	-10	-55	-48	-39	-32	-15	-58	-39
<b>営業利益</b>	101	155	97	174	20	112	10	41
持分法適用会社投資損益	74	100	132	70	46	71	77	40
その他の営業外項目	-53	-5	-29	0	-3	-1	-7	-41
<b>税引前利益</b>	122	250	200	245	63	182	80	39
<b>コスト/インカム率</b>	78.8%	65.0%	74.1%	66.3%	88.3%	75.0%	85.1%	84.5%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	5.5	5.4	5.2	5.1	5.0	5.0	5.0	5.1
リスクアセット (十億ユーロ)	50.5	52.0	51.8	48.4	46.5	47.6	45.9	44.5
(単位: 百万ユーロ)	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
<b>バンクウェスト (米国プライベートバンキングの100%を含む) <sup>1</sup></b>								
<b>営業収益</b>	722	733	657	619	626	588	587	625
うち受取利息純額	605	615	542	519	502	493	493	538
うち手数料	117	118	114	100	124	96	94	87
営業費用および減価償却費	-525	-566	-495	-475	-457	-425	-406	-410
<b>営業総利益</b>	197	167	162	144	169	163	182	215
リスク費用	-76	-49	-30	194	24	23	-8	7
<b>営業利益</b>	121	119	132	337	194	186	173	222
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	0	2	2	0	6	9	3	2
<b>税引前利益</b>	121	121	134	337	199	195	176	223
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-17	-18	-11	-7	-7	-6	-5	-7
<b>バンクウェスト税引前利益</b>	104	103	123	330	192	189	171	216
<b>コスト/インカム率</b>	72.7%	77.2%	75.4%	76.8%	73.0%	72.3%	69.1%	65.6%
融資平均残高 (十億ユーロ)	58	59	55	51	50	49	49	50
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	61	57	53	51	49	49	51	50
預金平均残高 (十億ユーロ)	72	75	73	72	71	71	68	65
リスク費用 (年率、bp)	50	34	23	-153	-20	-19	7	-5
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; 米国のプライベートバンキングの2/3を含む)	5.6	5.6	5.4	5.2	5.0	4.9	5.0	5.0
リスクアセット (十億ユーロ)	52.3	55.9	52.1	48.3	46.8	45.5	44.8	45.3
(単位: 百万ユーロ)	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
<b>バンクウェスト (米国プライベートバンキングの2/3を含む)</b>								
<b>営業収益</b>	694	703	635	600	608	572	571	609
営業費用および減価償却費	-513	-554	-484	-463	-446	-415	-395	-401
<b>営業総利益</b>	180	150	151	137	162	157	176	208
リスク費用	-76	-49	-30	194	24	23	-8	7
<b>営業利益</b>	104	101	121	331	187	180	168	215
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	0	2	2	0	6	9	3	2
<b>税引前利益</b>	104	103	123	330	192	189	171	216
<b>コスト/インカム率</b>	74.0%	78.7%	76.2%	77.2%	73.3%	72.5%	69.1%	65.8%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	5.6	5.6	5.4	5.2	5.0	4.9	5.0	5.0
リスクアセット (十億ユーロ)	52.2	55.8	52.0	48.2	46.7	45.4	44.7	45.3

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
<b>専門的金融事業 (パーソナル・ファイナンス、アルバルとリーシング・ソリューションズ、ニューデジタル事業と個人投資家事業-ドイツのプライベートバンキングの100%を含む) †</b>								
営業収益	2,369	2,416	2,482	2,404	2,187	2,106	2,169	2,173
営業費用および減価償却費	-1,244	-1,179	-1,199	-1,274	-1,181	-1,087	-1,141	-1,207
営業総利益	1,125	1,238	1,284	1,130	1,007	1,019	1,029	966
リスク費用	-485	-396	-380	-357	-378	-359	-378	-354
営業利益	640	841	903	773	629	660	650	612
持分法適用会社投資損益	-5	21	24	16	22	17	-4	15
その他の営業外項目	-8	3	28	0	7	36	-9	1
税引前利益	627	865	956	789	658	712	637	627
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-1	0	0	-1	-1	0	0	-1
専門的金融事業税引前利益	626	865	956	789	658	712	636	626
<b>コスト/インカム率</b>	<b>52.5%</b>	<b>48.8%</b>	<b>48.3%</b>	<b>53.0%</b>	<b>54.0%</b>	<b>51.6%</b>	<b>52.6%</b>	<b>55.5%</b>
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	123	123	121	118	116	117	117	117
リスク費用 (年率、bp)	157	129	125	121	130	122	130	121
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; ドイツのプライベートバンキングの2/3を含む)	12.1	12.0	11.8	11.4	11.3	11.4	11.5	11.4
リスクアセット (十億ユーロ)	111.6	109.0	108.6	106.8	102.3	100.7	101.7	104.0
(単位: 百万ユーロ)	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
<b>パーソナル・ファイナンス</b>								
営業収益	1,283	1,345	1,371	1,388	1,294	1,271	1,319	1,332
営業費用および減価償却費	-739	-689	-718	-776	-710	-644	-700	-750
営業総利益	544	656	653	612	584	627	619	581
リスク費用	-413	-336	-309	-315	-346	-303	-344	-321
営業利益	131	320	344	297	238	324	276	260
持分法適用会社投資損益	-5	22	26	14	22	16	-2	16
その他の営業外項目	-15	-2	-12	0	-2	36	-9	1
税引前利益	111	340	358	312	258	376	264	277
<b>コスト/インカム率</b>	<b>57.6%</b>	<b>51.2%</b>	<b>52.4%</b>	<b>55.9%</b>	<b>54.9%</b>	<b>50.7%</b>	<b>53.1%</b>	<b>56.4%</b>
融資平均残高 (十億ユーロ)	96	94	94	93	91	90	91	91
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	97	97	96	94	93	94	93	93
リスク費用 (年率、bp)	170	139	129	134	150	130	147	138
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	8.1	8.1	8.0	7.7	7.7	7.8	7.8	7.8
リスクアセット (十億ユーロ)	74.8	73.0	73.1	72.4	69.5	68.4	70.0	71.5
(単位: 百万ユーロ)	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
<b>アルバルとリーシング・ソリューションズ</b>								
営業収益	858	874	895	811	709	658	670	639
営業費用および減価償却費	-347	-341	-341	-366	-328	-314	-319	-338
営業総利益	511	534	553	445	381	344	350	301
リスク費用	-30	-38	-49	-30	-30	-54	-34	-32
営業利益	482	496	505	415	351	291	317	269
持分法適用会社投資損益	2	1	1	4	3	3	1	2
その他の営業外項目	7	5	40	0	0	0	0	0
税引前利益	491	502	545	419	353	293	317	271
<b>コスト/インカム率</b>	<b>40.4%</b>	<b>39.0%</b>	<b>38.1%</b>	<b>45.1%</b>	<b>46.2%</b>	<b>47.7%</b>	<b>47.7%</b>	<b>52.9%</b>
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	3.5	3.4	3.4	3.3	3.2	3.2	3.3	3.3
リスクアセット (十億ユーロ)	32.0	31.2	30.7	29.5	29.3	28.9	28.2	29.0
合計契約残高 (十億ユーロ)	51	49	49	48	47	46	46	45
ファイナンスアポート契約台数 (千台)	1,592	1,520	1,501	1,484	1,470	1,441	1,417	1,393
(単位: 百万ユーロ)	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
<b>ニューデジタル事業と個人投資家事業 (ドイツのプライベートバンキングの100%を含む) †</b>								
営業収益	228	197	217	205	184	177	180	203
営業費用および減価償却費	-158	-149	-139	-132	-143	-130	-122	-119
営業総利益	70	48	77	73	41	47	59	84
リスク費用	-42	-23	-23	-12	-1	-1	-1	-2
営業利益	28	25	54	61	40	46	58	82
持分法適用会社投資損益	-2	-2	-2	-3	-3	-2	-3	-3
その他の営業外項目	0	0	0	0	9	0	0	0
税引前利益	25	23	53	58	47	43	55	79
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-1	0	0	-1	-1	0	0	-1
ニューデジタル事業と個人投資家事業の税引前利益	25	22	52	58	46	43	54	79
<b>コスト/インカム率</b>	<b>69.4%</b>	<b>75.7%</b>	<b>64.3%</b>	<b>64.4%</b>	<b>77.6%</b>	<b>73.4%</b>	<b>67.5%</b>	<b>58.6%</b>
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3
リスクアセット (十億ユーロ)	4.8	4.9	4.8	4.9	3.5	3.4	3.4	3.5
Nidelの口座開設数	0	0	0	0	0	0	0	0
個人投資家事業の融資平均残高 (十億ユーロ)	2	2	2	1	1	1	1	1
個人投資家事業の預金平均残高 (十億ユーロ)	30	31	31	30	30	28	27	26
個人投資家事業の運用資産残高 (十億ユーロ)	150	150	147	162	163	161	157	146
個人投資家事業の欧州の顧客注文件数 (百万件)	9.2	10.1	10.1	13.0	11.8	10.7	10.0	12.4
(単位: 百万ユーロ)	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
<b>ニューデジタル事業と個人投資家事業 (ドイツのプライベートバンキングの2/3を含む)</b>								
営業収益	225	195	214	203	182	175	178	201
営業費用および減価償却費	-156	-147	-137	-130	-141	-128	-120	-117
営業総利益	69	48	77	72	41	47	58	83
リスク費用	-42	-23	-23	-12	-1	-1	-1	-2
営業利益	27	25	54	60	40	45	57	82
持分法適用会社投資損益	-2	-2	-2	-3	-3	-2	-3	-3
その他の営業外項目	0	0	1	0	9	0	0	0
税引前利益	25	22	52	58	46	43	54	79
<b>コスト/インカム率</b>	<b>69.4%</b>	<b>75.5%</b>	<b>64.1%</b>	<b>64.3%</b>	<b>77.6%</b>	<b>73.3%</b>	<b>67.3%</b>	<b>58.5%</b>
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3
リスクアセット (十億ユーロ)	4.8	4.9	4.8	4.9	3.5	3.4	3.4	3.5

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
<b>インベストメント&amp;プロテクションサービス (PS) 部門</b>								
営業収益	1,665	1,632	1,723	1,650	1,639	1,498	1,686	1,652
営業費用および減価償却費	-1,157	-1,087	-1,068	-1,051	-1,164	-1,038	-1,001	-1,015
営業総利益	508	545	655	599	475	461	684	638
リスク費用	14	2	-6	-7	7	-6	-3	-5
営業利益	522	547	649	592	482	455	681	633
持分法適用会社投資損益	63	42	66	52	57	17	38	44
その他の営業外項目	-3	39	13	39	-3	-4	2	97
税引前利益	582	627	729	683	537	468	721	774
コスト/インカム率	69.5%	66.6%	62.0%	63.7%	71.0%	69.3%	59.4%	61.4%
運用資産残高 (十億ユーロ、フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、ポーランド、トルコ、米国のプライベートバンキングの100%)	1,189	1,175	1,198	1,244	1,277	1,220	1,205	1,174
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	10.0	10.0	10.0	9.9	12.0	11.8	11.6	11.5
リスクアセット (十億ユーロ)	40.7	43.3	44.8	48.8	51.3	50.2	50.5	51.4
<b>(単位: 百万ユーロ)</b>								
<b>保険事業</b>								
営業収益	608	658	787	721	655	613	767	792
営業費用および減価償却費	-387	-391	-396	-384	-410	-376	-367	-383
営業総利益	221	267	391	337	245	237	399	409
リスク費用	0	0	-1	0	-1	0	-1	0
営業利益	221	266	390	337	244	237	399	409
持分法適用会社投資損益	34	31	48	36	30	-2	25	33
その他の営業外項目	-1	-1	14	1	-2	-4	0	0
税引前利益	253	296	453	373	272	231	424	442
コスト/インカム率	63.6%	59.5%	50.3%	53.3%	62.6%	61.3%	47.9%	48.3%
運用資産残高 (十億ユーロ)	247	248	255	270	282	277	274	268
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	7.1	7.1	7.2	7.2	9.4	9.2	9.1	9.0
リスクアセット (十億ユーロ)	14.8	16.5	18.2	23.2	26.4	26.5	26.5	28.6
<b>(単位: 百万ユーロ)</b>								
<b>ウェルス&amp;アセット・マネジメント事業</b>								
営業収益	1,057	974	936	929	984	885	919	861
営業費用および減価償却費	-771	-696	-672	-667	-754	-662	-634	-632
営業総利益	287	278	264	262	230	223	285	229
リスク費用	14	2	-5	-7	8	-5	-2	-5
営業利益	301	280	259	255	238	218	282	223
持分法適用会社投資損益	29	11	18	16	28	19	13	12
その他の営業外項目	-2	40	-1	38	0	0	2	96
税引前利益	328	331	276	310	265	237	297	331
コスト/インカム率	72.9%	71.4%	71.8%	71.8%	76.6%	74.8%	69.0%	73.4%
運用資産残高 (十億ユーロ、フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、ポーランド、トルコ、米国のプライベートバンキングの100%)	943	927	942	974	995	944	930	906
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	2.9	2.9	2.8	2.8	2.6	2.6	2.5	2.5
リスクアセット (十億ユーロ)	25.9	26.7	26.5	25.5	24.8	23.6	23.9	22.7
<b>(単位: 百万ユーロ)</b>								
<b>ウェルス・マネジメント事業</b>								
営業収益	421	409	393	389	365	375	369	367
営業費用および減価償却費	-328	-306	-285	-311	-290	-280	-270	-294
営業総利益	93	103	108	78	75	95	99	73
リスク費用	13	1	-3	-7	1	-2	-6	-4
営業利益	106	104	105	71	77	93	93	69
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	-1	40	0	0	0	0	1	0
税引前利益	104	144	105	71	77	93	94	69
コスト/インカム率	78.0%	74.8%	72.5%	79.9%	79.3%	74.7%	73.1%	80.1%
運用資産残高 (十億ユーロ、フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、ポーランド、トルコ、米国のプライベートバンキングの100%)	411	408	411	421	427	412	411	403
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	1.4	1.4	1.3	1.3	1.2	1.3	1.3	1.3
リスクアセット (十億ユーロ)	12.1	13.3	13.4	12.4	11.9	11.2	11.4	11.4
<b>(単位: 百万ユーロ)</b>								
<b>アセット・マネジメント事業 (不動産管理、プリンシパル・インベストメンツを含む)</b>								
営業収益	636	565	543	540	619	510	550	494
営業費用および減価償却費	-442	-390	-387	-356	-464	-381	-364	-338
営業総利益	194	175	156	184	155	128	186	156
リスク費用	1	1	-2	1	6	-4	3	-1
営業利益	195	176	154	185	161	125	189	155
持分法適用会社投資損益	29	11	18	16	28	19	13	12
その他の営業外項目	0	0	-1	38	0	0	1	96
税引前利益	224	187	171	239	189	144	203	262
コスト/インカム率	69.5%	69.0%	71.3%	65.9%	75.0%	74.8%	66.2%	68.4%
運用資産残高 (十億ユーロ)	532	519	531	553	568	532	519	503
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	1.5	1.5	1.5	1.5	1.3	1.3	1.3	1.2
リスクアセット (十億ユーロ)	13.8	13.5	13.2	13.2	12.9	12.4	12.5	11.3



(単位：百万ユーロ)	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
コーポレート・センター								
<b>営業収益</b>	<b>-249</b>	<b>-46</b>	<b>-50</b>	<b>66</b>	<b>-5</b>	<b>-10</b>	<b>79</b>	<b>243</b>
営業費用および減価償却費	-190	-199	-168	-511	-264	-178	-217	-244
うち事業再編、IT強化、事業適応費用	-188	-129	-110	-76	-82	-62	-71	-77
<b>営業総利益</b>	<b>-438</b>	<b>-245</b>	<b>-218</b>	<b>-445</b>	<b>-269</b>	<b>-187</b>	<b>-138</b>	<b>0</b>
リスク費用	59	-128	-63	-54	0	-38	-67	-54
<b>営業利益</b>	<b>-379</b>	<b>-372</b>	<b>-281</b>	<b>-499</b>	<b>-269</b>	<b>-225</b>	<b>-205</b>	<b>-54</b>
持分法適用会社投資損益	-38	19	19	23	4	13	-20	20
その他の営業外項目	51	-1	-66	-43	247	-61	298	292
<b>税引前利益</b>	<b>-366</b>	<b>-354</b>	<b>-328</b>	<b>-519</b>	<b>-18</b>	<b>-274</b>	<b>73</b>	<b>257</b>
配賦資本（十億ユーロ、年初末）	3.7	3.7	3.5	3.8	4.3	4.2	4.3	3.9
リスクアセット（十億ユーロ）	37.1	27.9	28.3	22.1	28.7	33.4	32.4	35.2



## リスク費用

BNP パリバ

リスク費用÷期首顧客向け融資残高 (年率、bp)

	2019	2020	1Q21	2Q21	3Q21	4Q21	2021	1Q22	2Q22	3Q22	4Q22	2022
<b>コマーシャル&amp;個人向けバンキングサービス (CPBS) 部門<sup>1</sup></b>												
融資期初残高 (十億ユーロ)	603.3	620.6	625.0	624.4	629.7	633.5	628.2	643.1	659.1	676.8	685.2	666.1
リスク費用 (百万ユーロ)	2,922	4,212	668	694	639	597	2,598	401	645	730	676	2,452
リスク費用 (年率、bp)	48	68	43	44	41	38	41	25	39	43	39	37
<b>ユーロ圏のコマーシャル&amp;個人向けバンキング事業<sup>1</sup></b>												
融資期初残高 (十億ユーロ)	391.1	408.1	421.0	420.8	426.6	429.9	424.6	437.5	448.6	459.5	463.3	452.2
リスク費用 (百万ユーロ)	883	1,268	281	249	288	211	1,030	198	187	230	105	719
リスク費用 (年率、bp)	23	31	27	24	27	20	24	18	17	20	9	16
<b>フランスのコマーシャル&amp;個人向けバンキング事業<sup>1</sup></b>												
融資期初残高 (十億ユーロ)	190.4	202.2	212.5	212.9	215.7	214.7	214.0	218.3	221.0	226.7	228.2	223.5
リスク費用 (百万ユーロ)	329	496	125	101	115	99	441	93	64	102	-21	237
リスク費用 (年率、bp)	17	25	24	19	21	19	21	17	12	18	-4	11
<b>BNLバンカ・コメルシアレ<sup>1</sup></b>												
融資期初残高 (十億ユーロ)	77.2	76.6	78.9	77.5	78.2	80.5	78.8	81.5	79.1	80.3	80.5	80.3
リスク費用 (百万ユーロ)	490	525	110	105	130	143	487	128	110	114	114	465
リスク費用 (年率、bp)	64	69	56	54	67	71	62	63	55	57	57	58
<b>ベルギーのコマーシャル&amp;個人向けバンキング事業<sup>1</sup></b>												
融資期初残高 (十億ユーロ)	113.0	117.8	117.9	118.4	120.5	122.5	119.8	125.0	135.8	139.6	141.2	135.4
リスク費用 (百万ユーロ)	55	230	47	45	36	-28	99	-17	16	17	20	36
リスク費用 (年率、bp)	5	19	16	15	12	-9	8	-6	5	5	6	3
1. プライベートバンキングの100%を含む												
	2019	2020	1Q21	2Q21	3Q21	4Q21	2021	1Q22	2Q22	3Q22	4Q22	2022
<b>ユーロ圏以外のコマーシャル&amp;個人向けバンキング事業<sup>1</sup></b>												
融資期初残高 (十億ユーロ)	95.8	95.3	86.9	86.9	85.8	87.1	86.7	87.2	89.2	94.5	98.7	92.4
リスク費用 (百万ユーロ)	547	759	32	67	-8	8	99	-154	78	104	86	114
リスク費用 (年率、bp)	57	80	15	31	-4	4	11	-71	35	44	35	12
<b>バンクウエスト<sup>1</sup></b>												
融資期初残高 (十億ユーロ)	55.1	55.8	49.8	51.1	49.0	49.3	49.8	50.6	52.5	56.6	61.2	55.2
リスク費用 (百万ユーロ)	148	322	-7	8	-23	-24	-45	-194	30	49	76	-39
リスク費用 (年率、bp)	27	58	-5	7	-19	-20	-9	-153	23	34	50	-7
<b>欧州・地中海沿岸諸国事業<sup>1</sup></b>												
融資期初残高 (十億ユーロ)	40.7	39.5	37.2	35.8	36.8	37.8	36.9	36.6	36.7	37.9	37.5	37.2
リスク費用 (百万ユーロ)	399	437	39	58	15	32	144	39	48	55	10	153
リスク費用 (年率、bp)	98	111	42	65	17	34	39	43	53	58	11	41
<b>パーソナル・ファイナンス</b>												
融資期初残高 (十億ユーロ)	93.5	94.4	93.1	93.4	93.5	92.5	93.1	94.0	96.0	96.9	96.9	96.0
リスク費用 (百万ユーロ)	1,354	1,997	321	344	303	346	1,314	315	309	336	413	1,373
リスク費用 (年率、bp)	145	212	138	147	130	150	141	134	129	139	170	143
<b>ホールセールバンキング部門-グローバル・バンキング事業</b>												
融資期初残高 (十億ユーロ)	145.6	164.4	144.7	154.0	153.1	156.5	152.1	163.0	169.5	178.7	188.9	175.0
リスク費用 (百万ユーロ)	223	1,308	185	64	24	-72	201	-20	85	116	155	336
リスク費用 (年率、bp)	15	80	51	17	6	-18	13	-5	20	26	33	19
<b>グループ</b>												
融資期初残高 (十億ユーロ)	827.1	867.3	846.9	866.8	873.9	883.0	867.7	903.8	942.7	963.7	988.4	949.6
リスク費用 (百万ユーロ)	3,203	5,717	896	813	706	510	2,925	456	789	947	773	2,965
リスク費用 (年率、bp)	39	66	42	38	32	23	34	20	33	39	31	31
1. プライベートバンキングの100%を含む; 2. 市場活動、インベストメント&プロテクションサービス (IPS) 部門およびコーポレート・センターのリスク費用を含む。												



代替的業績指標（ALTERNATIVE PERFORMANCE MEASURES: APM） – フランス金融市場庁  
（AMF）の一般規則第223-1条に基づく開示

代替的業績指標	定義	使用理由
事業部門損益計算書（P/L）（各事業部門の営業収益、営業費用、営業総利益、営業利益、税引前利益の合計）	<p>コマーシャル&amp;個人向けバンキングサービス部門、インベストメント&amp;プロテクションサービス部門、ホールセールバンキング部門の損益計算書の合計 （なお、コマーシャル&amp;個人向けバンキング事業の損益には、フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルク、ドイツ、ポーランド、トルコおよび米国のプライベートバンキングの2/3を含む）</p> <p>BNPパリバ・グループ損益計算書 ＝事業部門＋コーポレート・センターの損益計算書の合計 グループ全体の損益計算書との関係は「コア事業別業績」の表で開示</p>	BNPパリバ・グループの本業の業績を示す指標
PEL/CELの影響を除く損益計算書の合計（各事業部門の営業収益、営業総利益、営業利益、税引前利益の合計）	<p>PEL/CELの影響を除く損益計算書の合計 グループの調整後の損益計算書の合計は「連結四半期業績の推移」の表で開示</p>	PEL/CEL口座の全存続期間にわたり発生するリスクに対する引当金変動を除く、当期の損益計算書の合計を表す指標
プライベートバンキングの100%を含むコマーシャル&個人向けバンキング事業の損益計算書の合計	<p>プライベートバンキング全体の損益を含むコマーシャル&amp;個人向けバンキング事業の損益計算書の合計 グループの調整後の損益計算書の合計は「連結四半期業績の推移」の表で開示</p>	コマーシャル&個人向けバンキング事業の業績を示す指標であり、プライベートバンキングの業績の全部を含む（プライベートバンキングは、コマーシャル&個人向けバンキング(2/3)とウェルス・マネジメント(1/3)の共同責任のもとに置かれるが、その割合にもとづきウェルス・マネジメントに損益を配分する前の数値)
営業費用の変化（IFRIC 21を除外後）	IFRIC 21に基づく税金・拠出金を除いた上で、営業費用の変化を算定	IFRIC 21に基づく税金および拠出金は、事業年度に関わるほぼ全額を第1四半期に計上するが、その影響を排除し、他の四半期との比較の際の混乱を避け、当事業年度の営業費用の推移をとらえる指標
コストインカム率	営業費用を営業収益で除した比率	銀行業務における業務の効率性を表す指標
リスク費用+期首顧客向け融資残高（単位：bp）	<p>リスク費用（単位：百万ユーロ）を期首の顧客向け融資残高で除したもの 詳細な算定方法については、決算資料に添付された「融資残高に関わるリスク費用」で開示</p>	事業別の貸出金残高総額におけるリスクレベルの指標
不良債権カバー率	金融資産（ステージ3）の引当金と当該資産（ステージ3）の減損後残高との関係を表す指標。対象となる資産は、バランスシート上およびオフバランスシートの債権を含み、受け取った担保と相殺する。顧客向けおよび金融機関向け債権には、償却原価で測定される負債および資本を通じて公正価値で測定する有価証券を含む（保険事業を除く）	不良債権に対する引当の状況を表す指標
一時項目を除く株主帰属純利益	<p>一時項目を除いて算定された株主帰属純利益 一時項目の詳細については、決算資料に添付された「主な一時項目」で開示</p>	多額の非経常的項目あるいは本業の業績を反映しない項目を除外した、BNPパリバ・グループの純利益を表す指標。除外される項目の主なものに、事業再編、事業適応、IT強化および事業変革費用がある。
自己資本利益率（ROE）	ROEの詳細な算定方法については、決算資料に添付された「株主資本利益率」で開示	BNPパリバ・グループの自己資本の収益力を表す指標
有形自己資本利益率（ROTE）	ROTEの詳細な算定方法については、決算資料に添付された「株主資本利益率」で開示	BNPパリバ・グループの有形自己資本の収益力を表す指標



## 比較分析 — 連結範囲の変更および為替レート変動による影響の排除

連結範囲の変更による影響を排除するための方法は、買収、売却など、取引の形態に依る。その計算の根本的な目的は、期間比較可能性を確保することにある。

企業を買収または新設した場合、当該企業の業績は、同企業が過年度に未だ買収あるいは設立されていなかった期間に対応する分について、連結範囲の変更による影響を除く当会計年度の期間から排除する。

事業売却の場合、当該事業体の業績は、売却以降の期間に対応する過年度の四半期について対称的に排除する。

連結の会計処理方法を変更した場合、同一条件の下に調整した四半期業績に対して、2会計年度（当期および前期）の間で存在した最も低い持分比率を適用する。

為替レート変動による影響を除いた比較分析においては、前年度の四半期（比較対象となる四半期）業績を、当四半期（分析対象となる四半期）の為替レートで修正再表示する。これらの計算は全て、会社の報告通貨を基準に行う。

### 注：

**営業費用：** 従業員給与および従業員給付制度に関わる費用、その他営業費用、有形固定資産の減価償却費、無形固定資産の償却費、および不動産・機械設備を含む固定資産の減損などの総額を指す。本資料全体にわたり、「営業費用」および「費用」は特に区別することなく使われている。

**事業部門：** 以下の3部門から成る。

- **ホールセールバンキング (CIB) 部門：** グローバル・バンキング事業、グローバル・マーケット事業、証券管理事業
- **コマーシャル&個人向けバンキングサービス (CPBS) 部門：**
  - コマーシャル&個人向けバンキング事業（フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、欧州・地中海沿岸諸国、米国）
  - 専門的金融事業—アルバル、リーシング・ソリューションズ、パーソナル・ファイナンス、ニューデジタル事業（Nickel、Lyf等を含む）、個人投資家事業
- **インベストメント&プロテクションサービス (IPS) 部門：** 保険事業、ウェルス&アセット・マネジメント事業（ウェルス・マネジメント事業、アセット・マネジメント事業、不動産管理事業、プリンシパル・インベストメントを含む）



<b>BNPパリバのビジネスモデルの強みを活かし極めて底堅い業績を達成</b> .....	3
ホールセールバンキング (CIB) 部門 .....	8
コマーシャル&個人向けバンキングサービス (CPBS) 部門 .....	10
インベストメント&プロテクションサービス (IPS) 部門 .....	18
コーポレート・センター .....	20
財務構造 .....	21
<b>IFRS第5号適用 – 比較表 (未監査)</b> .....	22
連結損益計算書 .....	24
<b>2022年度第4四半期 – コア事業別業績</b> .....	25
<b>2022年度通期 – コア事業別業績</b> .....	26
連結四半期業績の推移 .....	27
リスク費用 .....	37
代替的業績指標 (ALTERNATIVE PERFORMANCE MEASURES: APM) – フランス金融市場庁 (AMF) の一般規則第223-1条に基づく開示 .....	38

## **Investor Relations & Financial Information**

Chrystelle Renaud +33 (0)1 42 98 46 45

Raphaëlle Bouvier Flory +33(0)1 42 98 45 48

Lisa Bugat +33 (0)1 42 98 23 40

Didier Leblanc +33 (0)1 42 98 43 13

Patrice Ménard +33 (0)1 42 98 21 61

Olivier Parenty +33 (0)1 55 77 55 29

---

### **Debt Investor Relation Officer**

Didier Leblanc +33 (0)1 42 98 43 13

---

E-mail: [investor.relations@bnpparibas.com](mailto:investor.relations@bnpparibas.com)

<https://invest.bnpparibas.com>



**BNP PARIBAS**

The bank  
for a changing  
world